

車座集会の開催結果（中間報告）及びタウンミーティングの開催概要について

1 主旨

世田谷区地域行政推進条例に基づく、次期地域行政推進計画及び（仮）地域経営方針については、車座集会及びタウンミーティングの開催により、区民意見を伺いながら策定に向けた取組みを進めている。この度、28地区において車座集会が終了したため、その開催結果並びに7月末までに開催した14地区の質問・意見の要旨を報告する。併せて、11月に開催予定のタウンミーティングの開催概要について報告する。

2 車座集会の開催結果について

(1) 開催期間 令和5年6月24日（土）～9月24日（日）

(2) 開催地区 全28地区

(3) 参加人数 661名

(4) 質問・意見概要 6月24日～7月29日開催分（14地区）

別紙「令和5年度車座集会の開催結果（6月24日～7月29日開催分（14地区））の質問・意見の要旨（中間まとめ）」のとおり

(5) その他

全28地区の質問・意見要旨については、11月に報告予定。

3 タウンミーティングの開催概要について

(1) 開催日時及び会場

地域	開催日時	会場
世田谷	11月5日（日） 午前10時～正午	区役所第3庁舎ブライツホール
烏山	11月8日（水） 午後6～8時	烏山区民センター
玉川	11月10日（金） 午後6～8時	玉川せせらぎホール
北沢	11月11日（土） 午後2～4時	北沢タウンホール
砧	11月25日（土） 午後2～4時	成城ホール集会室

(2) 概要

総合支所が、地域の実態を把握し、地域における社会資源を活用することにより地域の課題にあたるための方針として策定する（仮称）地域経営方針の素案についてテーマごとに地域住民の意見を伺う。

(3) その他

- ・区のおしらせ せたがや10月1日号等で広報を行い、同日、参加者募集を開始予定（各地域70名）。
- ・タウンミーティング当日は、各回オンライン傍聴を実施する。
- ・(仮称) 地域経営方針素案については、タウンミーティングのほか、区HPからのオンライン意見募集を実施するとともに、無作為抽出による各地域100名の方に資料を送付し意見を伺う。

4 今後のスケジュール（予定）

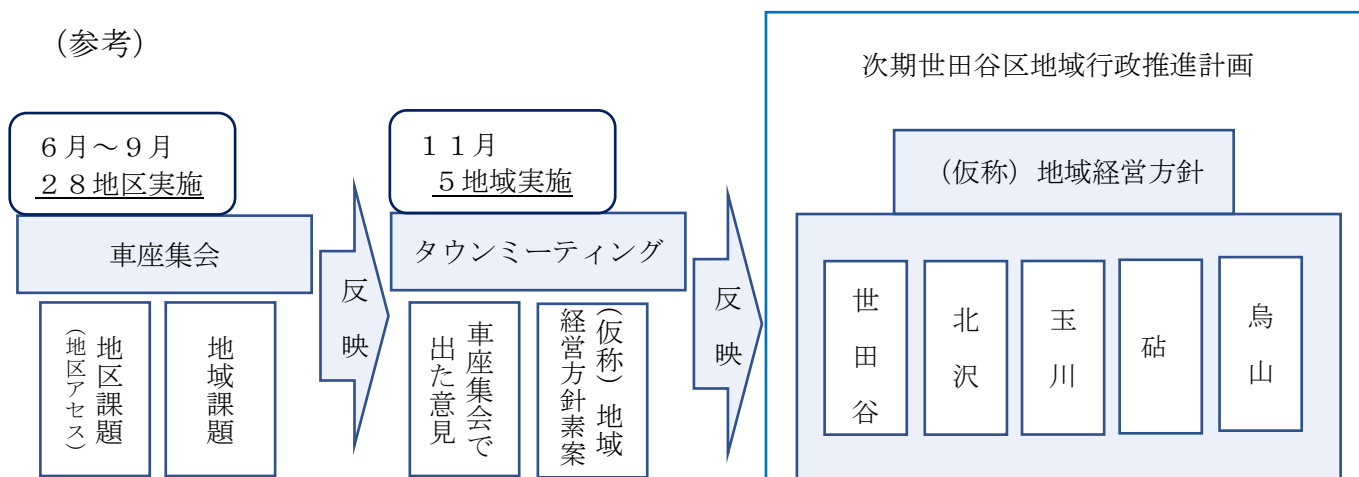
令和5年11月 タウンミーティングの開催（5地域）

11月 DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会報告
（車座集会の全地区質問・意見要旨のまとめ）

令和6年 2月 DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会報告

（タウンミーティング開催結果及び(仮称) 地域経営方針案）

(参考)



令和5年度
車座集会の開催結果
(6月24日～7月29日開催分(14地区)
の質問・意見の要旨(中間まとめ))

令和5年9月
世田谷区

＜目 次＞

○車座集会の開催結果	・・・P 2
○質問・意見等(要旨) 6月24日～7月29日開催分(14地区)	
世田谷地域	
若林地区	・・・P 3
上町地区	・・・P 8
下馬地区	・・・P 13
北沢地域	
梅丘地区	・・・P 17
代沢地区	・・・P 21
新代田地区	・・・P 25
松原地区	・・・P 29
玉川地域	
等々力地区	・・・P 35
用賀地区	・・・P 43
砧地域	
祖師谷地区	・・・P 47
成城地区	・・・P 53
喜多見地区	・・・P 57
烏山地域	
上北沢地区	・・・P 61
烏山地区	・・・P 66
○要望等一覧	・・・P 73

車座集会の開催結果

○開催概要

「地区の現況と課題、これまでの取組み、地区をまたがる地域の課題」をテーマに、今後の地区におけるまちづくりについてご意見をいただき、防災や見守り、地域コミュニティなど、地区をどのようにしたらもっと暮らしやすくなるのか、これまでの地区での取組みを振り返りながらご意見を伺い、区の政策・施策の検討に活かすことを目的に開催した(令和5年6月～9月)。

○開催結果

地域	地区	日付	曜日	時間	参加者
世田谷	池尻	8月19日	土	10時～12時	25名
	太子堂	9月10日	日	14時～16時	18名
	若林	6月24日	土	14時～16時	22名
	上町	6月24日	土	10時～12時	30名
	経堂	8月20日	日	14時～16時	34名
	下馬	7月23日	日	14時～16時	19名
	上馬	9月3日	日	14時～16時	26名
北沢	梅丘	7月23日	日	10時～12時	19名
	代沢	7月16日	日	10時～12時	24名
	新代田	7月16日	日	14時～16時	18名
	北沢	8月26日	土	10時～12時	13名
	松原	7月22日	土	10時～12時	25名
	松沢	8月27日	日	14時～16時	21名
玉川	奥沢	8月26日	土	14時～16時	31名
	九品仏	9月23日	土	10時～12時	24名
	等々力	7月15日	土	10時～12時	39名
	上野毛	9月9日	土	10時～12時	20名
	用賀	7月29日	土	10時～12時	24名
	二子玉川	9月24日	日	10時～12時	19名
	深沢	9月9日	土	14時～16時	22名
砧	祖師谷	6月25日	日	10時～12時	27名
	成城	7月15日	土	14時～16時	20名
	船橋	8月20日	日	10時～12時	19名
	喜多見	6月25日	日	14時～16時	25名
	砧	9月10日	日	10時～12時	25名
烏山	上北沢	7月2日	日	10時～12時	23名
	上祖師谷	9月24日	日	14時～16時	19名
	烏山	7月2日	日	14時～16時	30名
合計					661名

地区別質問・意見等(要旨)

車座集会当日の質問への回答、「意見・質問票」への回答、「電子申請により提出された意見」への回答を以下の項目に分けてまとめた。

項目

「まちづくり」、「町会・自治会・コミュニティ」、「DX」、「防災」、「安心・安全」、「環境・清掃・リサイクル」、「福祉」、「子ども」、「みどり・公園」、「道路・街づくり」、「交通」、「教育」、「公共施設」、「その他」

○若林地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	身近なまちづくり推進協議会のコミュニティ部会について、予算が1万円しかないため、もう少し増やしてほしい。	支所の予算はあまり多くなく、まちづくりセンターの予算も限られている。地域行政推進条例制定時に予算の改革についても議論しているが、地域・地区のニーズに合わせて予算が届くように、仕組みを改革していきたい。
まちづくり	若者と高齢者、若者と地域の方々をいかにつなげていくか、若林や三軒茶屋をどういったまちにしていきたいか聞きたい。	希望丘中学校跡地にできた青少年交流センターは、「次の世代が地域を担うような場を作ってほしい」と強い要望があり開設した。若い人がそこに集まり、企画を通じて地域の人たちとの交流が生まれた。このように、多世代が共に生きるまちを目指したい。
町会・自治会・コミュニティ	「いちのいち(町会・自治会向けSNS)」について、大変ありがたい取り組みだと思うので、十分に活用してやっていきたい。	「いちのいち」を使い始めている町会もあるが、手探りの状態である。始めていく際には、まちづくりセンターの若い職員、地域の中でIT系で働いている方や国士館の学生など、若者のスキルとパワーを出して、定着させていきたい。
町会・自治会・コミュニティ	町会・自治会と若い世代との連携について、「いちのいち」を活用しているが、なかなか広がらない。町会だけでなく地域を巻き込んだ独自のアプリを作りたいので、支援をお願いしたい。	「いちのいち」を改善したような独自アプリを開発されるということで、大変心強い。

町会・自治会・コミュニティ	大学の中に、学生が作った趣旨に賛同できる区民を呼んでくれるような、課外ゼミなりサークルをやってみたい。	地域交流ラボというものをやっているのですが、逆に、大学の中に地域の人が入っていけるような場について検討してほしい。
DX	商店街と住宅地が結びついて発展していくような方策を新しいプラットフォームで実現したい。区のDX推進の方針である「参加と協働のRe・Design」と、どのように関連してくるのか。	デジタルツールにより横につながるような、デジタルデモクラシーという考え方を発展させたいと考えている。参加と協働のDXというのは、横のつながりを強くして、情報を受け取るだけでなく、発信したり、対面でつながったりというようにできればよいと考えている。
DX	区のLINE、メルマガ、ツイッター、インスタ、フェイスブックなど初めて聞いた。情報発信のやり方やITの運用など、みんなで話し合う機会があれば参加したい。	区の広報としては、紙の「区のおしらせ」のほか、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムやLINEを使っている。このことを若者がよく接するところで広告を出すなど、良い方法があれば教えていただきたい。
DX	高齢者へのデジタル支援について、受動的なセミナーが多く、アウトプットの機会が少ない。今後のデジタル支援はどんなことを計画されているか。	まちづくりセンターや総合支所で受け止め、寄り添って、一緒に手続きをしてお手伝いすることはもちろん、お互い知り合い同士でサポートしあうことができたらなおいいと考えている。
防災	防災への備えとして、配慮が必要な方に対する区の実践をもう一歩進めて、具体的な支援を考えてほしい。	災害弱者の方がひとり暮らしの場合、避難できないということがある。その支援プログラムを早く作るべきだと議会からも提案があり、水害に近いところから作業を始めている。
防災	在宅避難について、宣伝を強化してほしい。	在宅避難については、力を入れている町会の取り組みなどをヒントに、食料や水の確保の重要性とあわせて周知していきたい。情報が入ってこないことと物資の確保が課題なので、在宅の方も避難しているという考え方で、対応する仕組みをつくっていききたい。

防災	同時発災型訓練について、区の防災フェアで実施してほしいという要請があり、ぜひ協力したい。	区長になってすぐに同時発災型訓練に参加して、当時はほかにほとんどやっていないような訓練だったため、大変感銘を受けた。また色々ご協力いただけるとのことで感謝する。
防災	防災訓練について、若い人の参加率が低く、年齢層に偏りがあるが、共助の面で課題だと思う。それに関する改善案を聞きたい。	地域には様々な方が住んでいる。皆さんが多様な形で、世代も超えて集まって来られる場所が必要なのかと思う。そういう場所があれば、災害時の訓練、あるいは実際に発災したときにも強いと思う。
防災	若林地区では、各丁目でLINEを使って防災情報を流している。各戸に二次元コードを貼ったチラシを入れて、加入者を増やしている。デジタルやSNSを使った広報に苦労しているとのことだが、既存のものを使ってどんどんやれば良いと思う。	LINEを使った防災情報の発信については、今まで聞いた中で一番進んでいる例だと思う。
安心・安全	若林地区の防災について何か提示したいとか考えているが、若林地区の防犯対策について何かあるのか、どのような犯罪対策を考えてほしいか聞きたい。	若林地区では、警察主導の防犯パトロールを各町会と実施している。地域住民が誰でも参加できる防犯パトロールができないか議論を始めたところである。区内では、特殊詐欺の対策として、啓発キャンペーンや自動通話録音機の配布をしている。また、還付金詐欺防止として、妨害電波を出すキャッシュディスプレイのボックスを昨年から設置している。
福祉	コロナはまだ終わっておらず、基礎疾患がある人にとってはリスクである。何かあった場合の相談先や、施設について聞きたい。	コロナが再燃する際には、緊急の体制に切り替えることを想定した配置をしている。お困りの点があれば、まちづくりセンターに福祉の相談窓口があるほか、総合支所であれば、保健福祉センターに相談いただければ適切なところにおつなぎする。
福祉	旧若林小学校のハートフル若林で「ハートふるカフェ」を開催しているが、予算の支援を考えてほしい。	認知症とともに生きる希望条例を制定し呼びかけている以上、ボランティアの方々に運営の工夫をしていただくと同時に、お金の負担をかけないよう区としての支援体制を整備していきたい。

子ども	青少年交流センターについて現在3か所あるが、まずは区内5か所くらいを目標に増やしてほしい。	施設を造れるところは限られているが、効果も確認できているので、これから広げる方向で考えていきたい。
教育	三軒茶屋小学校について、建て替えて機能改善をしてほしい。	学校が一斉に改築の時期を迎えているが、営繕部門の職員数は変わらないため、年2~3校の改築がやっとである。仕事のやり方を変え、民間の力も入れて、もっと改築できるようにしたい。また共通の仮設校舎を使い回していける場ができないか検討している。
教育	区長4期目だが、教育に関してはどのようなことを行おうと考えているのか。	不登校の児童が増えており、行きたくなる学校に変わる必要があるが、教員の定数が埋まらないなど大変な人手不足である。若い教員を支えるベテランの教員が必要であり、特別支援教育のニーズも広がっているため、区で教員を採用できないか考えている。
公共施設	本庁舎建設の遅延について、工事を管理監督する区側サイドの管理が行き届かなかったのではないかな。	工事監理を行う事業者も、計画に不具合があったことを見抜けなかった。施工業者のミスで工期が伸びたため、その事業者が責任を負い、区民には負担をかけないことを原則に交渉する。
公共施設	旧若林まちづくりセンターを民間などに売ったりせず、地域のために施設として残してほしい	現在、本庁舎建替にあたり、一部事務所機能として職員が仕事をしている。また保存文書の保管スペースとして活用している。今後の跡地活用について検討し、地域にも情報提供しながら進めていく。
公共施設	保健センターの跡地活用について、一緒に考える場を設けてほしい。	平常時は地域コミュニティ、若者・子育て支援機能を作りながら、感染症のときには医療的などところに代わるような場所として個人的に考えている。今後どういう場にするか、地域の皆さんや議会とも議論しながら進めていきたい。

その他	地域行政推進条例について、発想は素晴らしいが、まちづくりセンターの職員数からして期待が大きいのではないか。	昨年10月の条例制定とともに地域行政推進計画を策定したが、今年度いっぱいまでの計画であり、現在、来年度からの計画を策定している。体制の強化等については認識しており、建物の制約など色々あるが、新しい技術を使うことも含めながら、今後何ができるか計画の中で検討していきたい。
-----	---	--

○上町地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	新聞の「声・気流」などを話し合う会を開催しているが、このような会を区長はどう思うか。またこの会を広げていくにはどうしたらよいか。	フラットな立場で、相手を否定せず話し合うことはとても素晴らしいと思う。チラシなどを見て参加する方がもっと増えればよい。また、活動の楽しさをInstagramなどの電子ツールで発信していくのも1つの方法。
町会・自治会・コミュニティ	地域の絆連携活性化事業の助成金について、備品の購入を可能としてほしい。	地域で活動している方々と町会の連携の仕方、備品の必要性やこれまでの継続性をみて整理したい。
町会・自治会・コミュニティ	小学校にあがるまでの母親のつどいの場はあるが、それ以上の母親の集まり場が見当たらない。コロナ禍もあけて色々情報やつながりが欲しいがない。	児童館にいる「子育てサポーター」は、子ども達の日常の活動や年間の大きな事業を手伝いや、企画を検討している。これらの活動を通して、保護者や地域の皆さんとの情報交換や交流が生まれている。サポーターの意見から、思春期の時期の親同士で話をする場が開催されたこともある。
防災	防災に関する予算は、各避難所に1万円しかない。町会にも予算はあるが、各避難所への振り分けが難しい。助成金制度や、分配をまちづくりセンターに任せるなど、制度の見直しをしてほしい。	予算と実態が乖離しているところはお話を伺い、お金の計上の仕方を改めて精査したい。
福祉	発達障害の診断を受けている子と違い、グレーゾーン（診断名なし）の子の就職の場が見えてこない。そのような子の支援の場を教えてほしい。	障害のある方の就労支援等を図る「障害者就労支援センター」や就労に向けた準備、仕事体験等の支援を目的とした「せたがや若者サポートステーション」、生きづらさを抱えた若者の支援を目的とする「メルクマールせたがや」、生活全般にわたる困りごとの相談窓口「ぷらっとホーム世田谷」等、障害の有無に関わらず就労等に関する多様な支援機関があり、必要に応じ機関同士が連携しながら支援にあたっている。また、ハローワークでは、障害者手帳や診断書の有無に関わらず様々な相談に専門的に対応している。児童発達支援及

		<p>び放課後等デイサービスでは、障害のあるお子さんの日常生活における基本的な動作の指導や集団への適応訓練などを行っており、就職に関する直接的な支援は行っていないが、お子さんの将来等、現状ご不安に感じることについては、各事業所のスタッフに相談することができる。</p> <p>中学校においては高校等への進学についての進路相談と合わせ、将来の就労を見据えた指導・相談を行っている。特別支援教室（すまいるルーム）においても、生徒本人の特性に応じた進路指導を行っている。また、進学先の高校などと、情報の共有や引継ぎ等を行っており、自分の特性に合う将来の職業や生活を想像していくためのサポート体制を構築している。なお、令和3年度より全ての都立高等学校や都立中等教育学校において、通級による指導を実施できる仕組みとなった。</p>
子ども	<p>育仕両立支援ルーム「イクシモ」を立ち上げた。仕事と子育ての両立にポイントを置いたプログラムを実施しているので、よろしく願いしたい。</p>	<p>区では妊娠から出産、保育園・幼稚園に通うまでの間の、在宅子育ての支援がひとつつながりにない部分がある。イクシモのような取組みを地域で横に広げ、まちづくりセンターでも情報共有できるようにしていただければと思う。</p>
みどり・公園	<p>生産緑地について、将来的に農地を住民が手放したとき、区はどういった形で保全・利用していくのか。</p>	<p>区として、農園を農業公園として区で買い取ることに、力を入れたいと思っている。農地の保全だけでなく、区民が農に関わる、土に触れる機会を増やしていきたい。農地を残していくために、様々なイベントやシンポジウムを開催したい。</p>
みどり・公園	<p>ウォーキングの際、緑道や公園にトイレが少なく困ることがある。緑道や小公園等にもトイレを設置してほしい。維持管理費が大変なので、有料にすればよい。</p>	<p>緑道は河川の上部を占用しており、建築基準法上、トイレを建築することが原則できない。また小さな公園は、都市公園法上、建築面積が限られていることや、近隣の住宅から十分距離をとることが困難なため、近隣</p>

		住民の理解を得られない場合もある。しかし、街なかにトイレが充実していることは重要であり、公園などを新設・改修する際には、地域住民や公園利用者の意見等を聞き、周辺の公園以外の公共トイレの設置状況も把握しつつ、トイレの新設や改修に加え、適切な維持管理の在り方についても検討を行う。
道路・街づくり	近隣のマンションでは、公道に面しブロック塀が設置されているが、地震対策がされているか心配である。新しい基準に則って、区でブロック塀をチェックしてほしい。	区職員による目視確認の上、マンションの所有者及び管理組合等に対し、いただいたご意見をお伝えし、適切な管理をお願いしていく。
交通	都道の補助128号線は信号が1か所しかなく、位置も交差点から外れているため何とかしてほしい。	支所をあげて現場を確認し、お話を聞いて警察とも対応する。そのほかゾーン30など代替策も含めて検討する。
交通	桜小学校正門前の歩道に信号機をつけてほしいと、区や都に訴えているが、つけられないとの回答に承服できない。	桜小学校の特に出入口付近での交通環境について、改めて支所を中心に取組み、区でできるような安全策について検討する。
公共施設	大蔵第二運動場の駐輪場に、簡単な仮設のものでもよいので屋根を作してほしい。	その話は聞いている。どのような改善が図れるか、所管課に確認する。
公共施設	本庁舎工事遅延に伴う補償について、施工業者の責任をしっかりと追及してほしい。	約款上の損害賠償を超えてなお損失が大きい場合、遅れたことが原因の出費に区民の税金は使わず、施工業者が責任をもって支払うよう交渉していく。
公共施設	世田谷地区会館で子ども食堂の活動をしているが、飲食が禁止されている。地区会館利用ルールの変更をお願いしたい。	子どもの貧困対策について、区としては全面的に応援していきたい。活動場所については、例えば学校のランチルームや児童館など、他の選択肢も検討したい。
公共施設	ふじみ荘や厚生会館のような施設がなくなってしまったため、上町地区に同じような施設を建ててほしい。	地区の中で、仲間づくりや話し合いの場などをつないでいく機能が大切。元気に活動できる高齢者の居場所、若い世代や子育て世代とも交流することができる場の情報を、皆さんに届けられるようにしたい。

公共施設	本庁舎整備の工期が延びるとはいえ、リニューアルされた区民会館は5年度には完成されるものと思っている。	世田谷区民会館は本庁舎等整備工事における工程遅延に伴い、完成予定日が令和6年3月29日へと変更となった。これにより、内覧会やオープニングイベント、一般利用開放時期についても、再調整している。詳細が決まり次第、区HPや区のおしらせ等で案内する。
公共施設	世田谷区民会館で開催するイベント等の周知について、公演スケジュール表の掲示が区民ホール玄関横のみで、ホームページにも表示されておらず、区民への案内がほとんどされていない。	利用者にとって分かりやすいイベント等の開催スケジュールの周知ができるよう、他のホール等の事例を参考に検討する。
公共施設	世田谷区民会館の管理委託業者の業務状況を確認し、不備があれば指導すべき。また、業者の募集に関して、新しい区民ホールでの公演に多くの聴衆が集まるような企画・運営ができる委託業者を選択してほしい。	改修後の世田谷区民会館の管理運営業務委託にあたっては、プロポーザル方式により広く公募して決定しているが、契約締結後も区として業務の状況を逐一確認し、必要に応じて改善等の指導を行う。
その他	今年、世田谷文学賞が中止になった。見直すとのことだが、これからの行方が心配である。いつ再開されるのか。	世田谷文学賞は、せたがや文化財団（世田谷文学館）が主催している。現在、事業内容等の見直しを行っており、今後のスケジュールもこれから検討を行う。次の実施が決まり次第、世田谷文学館ホームページ等でお知らせする予定。
その他	世田谷うたの広場が解散したという手紙がきた。区が支援できなくなったことが原因の1つと聞いたが、文化に対する支援を減らしていくのか。また、継続のためのアドバイスを聞きたい。	世田谷うたの広場「詩と作曲の会」の今後の活動については、世話人の方方で検討していると聞いている。今後については決まり次第、世田谷うたの広場「詩と作曲の会」より通知する予定である。
その他	MTP（マネジメント・トレーニング・プログラム）の考え方を職員一人一人がもって職務をしてほしい。最初から断るのではなく、やるためにはどうしたらよいかという観点から議論しあうような姿勢でいてほしい。	DX推進方針を見直している中で、住民と職員が同じところを目指すこと、どうやったらできるか考えて、問題を発見し解決する組織にすることを強く打ち出している。一方で安定した行政サービスを提供するところにも能力を発揮している。安定性と新しいことにチャレンジして問題を

		解決する2つを両立させるといふところを頑張っていきたい。
その他	区長がテレビ番組に出演の際、マイナンバーカードの混乱について、自治体に負荷をかけるようなことをするなどの発言があり、区長を見直した。	9月までに全自治体で、個人情報の照らし合わせをコロナ並みのスピードでやれと言われた。コロナは命に関わるため全力でやったが、人為的・政策的ミスも絡んだものにまで無理はさせられない。国の政策をよくするためにも、住民サービスにしわ寄せがいくと意見を申し上げた。
その他	世田谷区は一人あたりの歳入額が23区の中で一番下である。インバウンド需要が増加する中で、民間企業のやりたいことをサポートするなど、経済の活性化に取り組んでほしい。	人口が多いため一人当たりだと少なくなるが、住民税として納めていただいている規模は23区では上位で、税収は安定している。ただ、ふるさと納税の影響で学校改築2校強分くらいの財源がなくなっている。また観光において、世田谷区産業振興公社に観光を担当する部署をおき取組みはしているが、お金を稼ぐということについては準備段階である。
その他	ベンチマーキングの実施やベストプラクティスの展開について、区としての考え方、そして区内の事例を教えてください。	施策の立案や事業手法の見直しなどにあたり、他自治体の動向や実施手法について比較検討し、必要に応じてヒアリングに赴くなどの取組みを行っているが、今後も、民間企業等との連携や他自治体の好事例の取組みなどを参考にしながら、区民福祉のさらなる充実を目指し、区の経営力の向上に取り組む。

○下馬地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	町会へ加入している人が少なくなっている。子育て世代は学校でPTAに加入していることも多いが、町会や地域づくり活動につながらない。地域行政推進条例の中で、まちづくりセンターが中心となって地域の課題解決や地域資源の開発など総合調整を行っていくという認識で良いか。	まちづくりセンターを拠点として、多世代の区民が寄り合い地区の情報や課題について話をしていくことが地域行政推進条例の狙いになっている。地域で活動している方々がつながり、情報交換ができるようにまちづくりセンター、総合支所と支援を行っていききたい。
町会・自治会・コミュニティ	町会への配布物や提出物が大量にあり、処理が大変である。煩雑さをどうにかできないか。	区では町会への配布物など地域の方への文書の整理を行うようにしている。引き続き文書の整理、削減に努めていく。
町会・自治会・コミュニティ	地区内に600世帯以上が入居するURマンションがあるが、ほとんど町会に入っていない。大きな団地については、自主的に自治会等を作ってシームレスに地域活動ができるようバックアップしてほしい。	防災関係では管理組合とつながりがあるため、取組みなど支援していききたい。URとしても、安全で災害に強いという意味では、地域や行政とつながっていることが前提だろうと思う。URの中から自治会が生まれて、若い世代が町会を担っていけるようにサポートしていききたい。
DX	スマートフォン講座を今後どのように運営していくのか。スマートフォンのメリットを積極的に教えていってはどうか。	スマートフォンは使い続けないと上達しない。太子堂地区のスマートフォン講座では参加者のLINEのグループを作成して、継続してスマホに触れていけるように工夫していた。受講者の声に合わせてメニューを作っていきたい。
DX	デジタル機器やインターネットを使えない人々のため、窓口対応や紙媒体による広報などは残してほしい。	世田谷区DX推進方針Ver. 2(素案)においては、デジタルファーストでサービスをデザインしなおすとする一方で、「多様な手段で誰一人取り残さないサービスを実現します」と掲げており、デジタル機器を利用できない方々にとっても不自由のないサービスの実現を目指していく。

防災	防災担当職員が異動すると、新しい担当者が業務を把握しておらず、こちらが逆に教える立場になることがある。区の担当が落ち着いて勉強し、区民を指導できる体制を整えてほしい。	地域防災の強化のため、経験のあるプロに危機監理監として入ってもらい、体制を再構築しようとしている。また、区内の発災状況を一度に確認できる情報システムの新庁舎への構築や、上用賀公園を非常時の物資輸送拠点にするなどにも取り組んでおり、様々な経験ができるように区の指導体制を強めていきたい。
防災	避難行動要支援者の個別避難計画の作成を、どのように進めていくのか。	避難行動要支援者の対応について、各地区でアンケートをとっている。今年度早い段階で作成していきたい。町会・自治会にもご協力いただき、防災関係では地域振興課とも連携して進めていきたい。
環境・清掃・リサイクル	ごみ収集のカレンダーを教材として使い、小学校高学年か中学生に向けて、ごみの収集日等について授業を行えないか。	クラス内の家庭で収集日が異なることが課題となるが、プラスチックのリサイクルが法律で義務化され、リサイクルやリユースの教育は必要だと思うので、教育長に伝える。地域に密着していくことが区の学校の方針なので、社会科見学なども含めて、清掃やリサイクルに子どもの関心を向けていきたい。
福祉	障害者施設の職員不足が問題となっている。区全体で福祉の仕事を募集してほしい。	福祉人材のやりがいアピールするパンフレットなどを作成しているが、次の取り組みが必要だと感じているので検討していきたい。
福祉	ごみ屋敷状態の家庭に対して、区から補助ができないか。またそのような家庭の子に、学校などで片づけを教える授業を行うのはどうか。	ごみ屋敷の問題は四者連携の場でも話題に出ることが多く、啓発や研修等につなぐ対応をとるなどしており、必要なサービスにつなげていきたい。
福祉	デジタル遺品の取り扱いについて、区としての方向性を検討してほしい。	リアルの遺品の問題があるので、そちらに先に取り組みたい。デジタル遺品は、必ず来る問題と認識しており、次の課題として考えていく。

福祉	区内に小児科を含む区立の小規模な医療センターを数か所設置したらどうか。	区で実施している診療事業として初期救急診療所を区内3カ所に設置しているが、これを増やすことへの対応は医師確保等の課題などがあり、ご意見については今後の参考としたい。
みどり・公園	江戸川区には大きなトリケラトプスの像がある公園があり、子どもたちが乗って遊んでいた。このような面白い公園を区内につくったらどうか。	公園づくりにおいて区ではみどり確保と住民参加に力を入れている。区民の方々に愛着をもってもらえる公園を作っていきたい。
道路・街づくり	マンションの駐車場の台数が過大になってきている。附置台数の要件の見直しを検討してほしい。	世田谷区建築物の建築に係る住環境の整備に関する条例に基づく駐車施設の台数については、複数の算定方式がある。内容によっては駐車施設の台数を減らす手立てもあるかもしれないので、街づくり課に相談してほしい。
その他	区の行政が区民のために、何をしているのかという全体像が分かりにくい。予算の分配など、何に重点的に取り組んでいるのか教えてほしい。	区のサービスは健康で自立して、自分で生活できる人には少し遠いかもしれない。4月15日号の「区のおしらせ」で予算についてご案内しているが、予算の半分以上を占めているのは、子育て支援から介護までの福祉分野の費用である。
その他	ワンストップで対応していたすぐやる課は無くなったが、まちづくりセンターが代替機能を有していると考えて良いか。	まちづくりセンターでも幅広く相談は受けるが、権限を超える部分は担当につなぐなどの対応をしている。また各総合支所の地域振興課の計画・相談で問い合わせを受け、現場の確認、手続きができる窓口案内などを行っている。
その他	様々な業務を一気にマイナンバーカードへ一本化する動きが見られるが、期限を区切らずにもう少し時間をかけて行うべきではないか。	同様に考えている。特別区長会を通して国に伝えていきたい。
その他	ふるさと納税について、上限額や回数を決めるなど区の収入になるような対策をしてほしい。	減収により道路の整備や学校の改築の計画に影響が出ないように、上限を決めるよう意見していきたい。

その他	ふるさと納税で区内事業所のサービスを返礼品にしてはどうか。	区民がふるさと納税をして、返礼として区内事業所のサービスを受けるのは難しい。
その他	マイナンバーカードによる個人情報の流出などに対し、国、自治体はどのような対応、アフターフォローをするのか。任意のカードでも同じような機能を付けることはできるのではないか。	マイナンバーカードに書かれている個人情報は「氏名・住所・性別・生年月日」のみであり、ICチップにもこれら以外の情報は入っておらず、所得や健康の情報など、重要な個人情報がまとめて流出することはない。マイナンバーは、利用範囲や収集・保管などが法令で厳しく制限され、他人のマイナンバーを使った手続きができない仕組みとなっているなど、安全対策が行われており、不正なアクセスが行われないよう、国の第三者機関である「個人情報保護委員会」が監視・監督するとともに、悪用に関しては、法律により罰則が設けられている。区としても、マイナンバーに限らず、個人情報の漏えいや不正・不適切な取扱い等の防止に努めていく。任意のカードへの同様の機能の搭載については、国の施策に関することであり区としてはお答えできない。
その他	区議会議員選挙の際、現職の議員は選挙ポスターにこれまでの議員としての実績や現在取り組んでいる事の記載を義務付けてはどうか。	公職選挙法により、選挙運動で使用できるポスターは、選挙を管理する上で必要となる責任者や印刷者の氏名・住所を記載しなければならない。その他の事項については、法令に違反しない限り制限はなく、自身の選挙運動として必要な内容を記載することができるため、記載事項を義務付けることはできない。

○梅丘地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	まちづくりセンターは新しくなったが、ふらりと寄れる雰囲気はない。梅丘地区でも高齢化が進み、地域コミュニティが薄れつつある。例えば、絵画などの趣味を通じた地域交流として作品展などを開催し、「出会いとふれ合いの場」を創れないだろうか。梅丘の地区ビジョンに「出会いとふれ合いの場づくり」を加えて欲しい。	梅丘まちづくりセンターは集会施設との複合施設であり、セキュリティの観点から作品を安全に管理することが難しく、また、様々な掲示物で壁面を使用しており、作品展示も難しい状況である。まちづくりセンターには、常時椅子を設置し、お休みいただく際や、暑さから身を守る際に利用いただける場所を提供している。地区ビジョンの追加については、改定の際の参考にさせていただきたい。
防災	最近、炊き出し訓練が非常におそろかになっている。訓練をより充実させるためにも、LPガスを町会・自治会に置いて利用できるようにしていただきたい。	同様の意見をいただいているが、使い慣れていない方もおり、保管方法も課題なので、引き続き検討していく。
防災	防災士認証登録支援助成の対象者が20名となっているが、もっと増やしていただけないか。	人数を拡大できないか担当所管に伝える。
安心・安全	子どもたちの安全のためにさくら花見堂南門の前に街路灯などをつけてほしい。	現地を確認し、街路灯担当に伝える。
安心・安全	区役所西通りの国土舘大学北の交差点付近に交番を設置してほしい。	北沢警察署へご要望があったことを伝える。
安心・安全	豪徳寺周辺に外国人観光客が増え、民家を覗いたりする。観光は良いが、まちの安全も考慮していただきたい。	ここは居住エリアであるといった注意はあまりできていない状態。豪徳寺とも情報交換し、近隣対策と継続可能な観光のあり方を考えていきたい。
福祉	うめとぴあにて正式な訓練士がいない中で自立訓練（歩行訓練）が進められたが、本当にいいのか不安であった。	うめとぴあは新しい拠点施設で、体制も充実させるところであったが、コロナの影響により組み立てがまだまだ不十分であった。

福祉	高齢者のスマホ講座に視覚障害者が申し込みをしたが、3名が受け入れられなかった。視覚障害者の団体では、5年前から視覚障害者が視覚障害者に無料で講座を行っている。受け入れができないのであれば、視覚障害者の団体を紹介するなど連携してほしい。	スマホ講座については、視覚障害者の方が講師となって教えるという形でないと難しいのではないかと思う。デジタルを使う上で誰一人取り残さないということが重要であるため、区でも目配りができるように何かできないか考えていく。
道路・街づくり	警察の社宅が建設されるが、羽根木公園から富士山が見られる場所を阻害しないように建物の高さを低くしてほしい。	取り壊しの段階で設計していると思われるので、警視庁が眺望を踏まえた配慮をしてくれているかどうかだが、お声があったことは北沢警察署へ伝える。
道路・街づくり	地区内に、住居としての実態がほぼないにもかかわらず、2階を住居として店舗を出している商業施設がある。地区としてもあまりよくないと思う。	当該施設のある場所は、第一種低層住居専用地域であり、用途規制が一番厳しいエリアになる。建てられる規模は店舗併用の住宅である。行政指導の担当部署へ情報提供し、実態を確認する。
道路・街づくり	梅丘まちづくりセンター前の道路の幅が広がり、大型車が通るようになったためすごく揺れる。0時～4時頃まで大型車だけは通行止めにしてもらいたい。	大型車の規制については警視庁の管轄となるため難しい。区では通学路や子供が通る細い道の通行止めを進めようとしている。30キロ以上は出してはいけないというルールを住民の方と一緒に作り、指定していくことはできる（ゾーン30）。また、振動を計測し、構造的に音を軽減する対策ができるのであれば、検討できると思う。ご意見は北沢警察へ伝える。
道路・街づくり	環状七号線により地区の主要エリアと代田1・2丁目が分断されるという話があったが、分断をなくすことが現実的でないのであれば、地区の考え方を考えてもいいのかなと思う。日常生活で環七をまたいでいる人はあまりいないと思う。また、街づくり計画とまちづくりセンターの地区割りが異なるため、整合性も検討してほしい。街づくり計画の参考に地区アセスメントが活用できたら良いと思う。	物理的な空間の違い、心理的なつながり、地域のコミュニティの考え方など、いろいろなところでエリアの捉え方があると思うので、引き続き検討させていただきたい。

道路・街づくり	都市計画道路補助52号線建設の再考をお願いしたい。延焼を防止すると言っているが、不燃化率の低い地域ではない。また、用地買収した土地に造られたフェンスが道路にはみ出しており、通学路が危険な状態になっている。庁舎や学校の改築などで車の出入りが多く事故が絶えない状況なので、都、区、警察で連携を取ってほしい。	区としては、都が進める道路が出来上がった時に、どのようなまちを目指していくか議論している。様々な立場からの意見を受け止め、検討しているところである。反対意見は都に伝えていく。また、庁舎改築などでしばらく工事車両の行き来が続くので、身近な交通の安全の確保はしっかり取り組んでいく。
道路・街づくり	補助52号線沿線豪徳寺駅周辺地区街づくり計画では建築物の高さが25mまでとなっているが、地区には相応しくない高さと感じる。高さについて調整する方法はあるのか。沿道の不燃化の対策は大切と考えるが、延焼を防ぐための高さとして7mくらいが最高の高さにならないか。	延焼遮断帯としての沿道の建築物等の高さは、一般的に最低でも7m以上が必要といわれており、沿道建築物等の後背地に燃え広がらないようにするためには、最低基準以上の高さとするのが求められている。なお、補助52号線沿道地区の後背地となる第1種低層住居専用地域における最高高さは10mまでとされている。燃え広がりを防ぐ意味から沿道の建築物等には後背地以上の高さが求められており、本地区計画策定の検討時には、区民の皆様からご意見をいただき、補助52号沿道地区における最高高さを25mとしている。
交通	自転車に乗る際はヘルメット着用となったが、車やキックボードなどいろいろなものが混在するようになり、一番守られていないのは歩行者ではないかと思う。歩車道の区別の強化、商店街での車の通行止めを拡大してもらいたい。	キックボードについては、状況を確認し、危険が大きいようであれば、区のルールを作っていく。ヘルメットについては、7月下旬頃から登録された店舗で一人当たり2000円の助成を出すこととなり、せたがやPayの最大20%還元と併用できる。区の交通事故の半数以上が自転車絡みであるため、これを機に呼びかけていきたい。
交通	豪徳寺駅になるべく早くホームドアを設置するよう区から鉄道事業者へ要請してほしい。	区所管課から鉄道事業者へ要望を伝える。

交通	梅丘駅と等々力間でバスが運行するようになったが、梅丘まちづくりセンターの最寄りのバス停が、等々力行き側にしかない。梅丘駅行き側は理由があって作れないようだが、工夫してなんとかならないか。	設置できなかった経緯を踏まえ、バス事業者や関係所管と改善策があれば考えていきたい。
教育	夏休み中、学童に来る児童への弁当や給食について、他の区では進んでいるようだが。区の状況を教えて欲しい。	食品を扱うため、安全に提供できる体制や食品の保管場所、スタッフの確保ができていないといった課題があった。順次検討しているため、準備ができたところから提供があると思う。
その他	区の観光案内やパンフレットを見たことがない。大きな掲示板もない。道が複雑な区であるので、観光PRに向けて考えていただきたい。	外郭団体である世田谷区産業振興公社にて、せたがやガイドブックを発行している。豪徳寺への道のりに関する問い合わせ等も多いため、サインや表示も含め取り組んでいく予定である。
その他	せたがやP a yは高齢者には使いにくい。年齢制限を設け、高齢者向けに紙の商品券を発行してほしい。	せたがやP a yはスマホにインストールするのが難しく、その後の支払いは簡単だと思うが、サポートが必要であったと思う。商店街連合会では紙の商品券も発行している。

○代沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	まちづくりセンターが、多くの区民に認知され利用者が増加するよう、充実を図っていただきたい。	参加と協働の進展のため、まちづくりセンターと区民の皆さんで、新しい場所を使っていく仕組みづくりなどの議論を始めていただきたい。
まちづくり	商店街などでの路上喫煙、路上飲み、客引きなどを許容している社会の雰囲気があるのに、路上ミュージシャンは厳しく取り締まられており矛盾を感じる。	下北沢では商店街や町会・自治会などによる地域主体のエリアマネジメント組織を立ち上げようとしている。地域の皆さんとも連携しながら、街の治安維持に取り組んでいく。
町会・自治会・コミュニティ	町会役員の高齢化について、何か改善案はないか。	例えば、町会のエリア内に住む人にコミュニティ醸成について話し合う会の案内状を送ると、若い世代の方が来ると思う。そういうところから新しい世代にも入ってきてもらうことができるといいのではないか。
DX	メルマガの内容は区報とほぼ同じで、この中から必要な情報を取捨選択するのは手間がかかる。区民一人ひとりに必要な情報が届く仕組みがあるとよいと思う。	LINEやフェイスブックなど様々なツールがあるが、92万人それぞれ興味関心は異なるため、1つのものでは成立し得ないと思っている。LINEについては、今、高齢者と子育て世代にターゲットを絞り、使いこなしていただけるように進めている。
DX	町内でのデジタル化について具体的な内容を知りたい。	各町会・自治会で独自の取組が行われているが、区として使用を推進しているツールはない。それぞれの状況に応じて使いやすいものは変わるが、区がどのようにサポートするかは、皆さんの意見を伺いながら考えていきたい。
防災	災害時における速やかな救出救助や在宅避難者への円滑な支援物資の提供の観点から、災害要支援者を含め、住民に関する情報の提供をお願いしたい。	初期の避難、救助は若い人たちが中心になってほしいので、そういう防災体制の構築をこれから各地区でやっていただきたい。在宅避難の場合、避難所に来る水や食料、情報が届きにくいということがあると思う。例えばマンションごとに物資を分けていくなど、これまでの考え方を変えていくことになるので、防災塾等で

		話し合いながら準備を進めていただきたい。
子ども	虐待が起きた場合の対応だけでなく、虐待を事前に防止する活動にも力を注いでほしい。	子ども家庭支援センターでは、世田谷区児童相談所と、双方がもつ機能を組み合わせた「のりしろ型支援」を着実に推進することで、予防型の児童相談行政を進めていきたい。また、「要保護児童支援北沢協議会」を活用して、さらなる連携の強化を図り児童虐待の予防に努めていきたい。
みどり・公園	旧郵政省職員住宅跡地の公園整備について、2年前に地域の意見を聞くという話をいただいたが、いつ実施するのか。	現在、計画的に土地の取得を進めている。開設の時期を見据えた段階で、地域の皆さんから御意見をいただきながら開設を進めていく。
みどり・公園	旧郵政省職員住宅跡地の公園整備について、進行状況を知りたいという地域の方がたくさんいる。	
みどり・公園	地域の中でこいのぼりをあげてほしいという希望があった。町会で、せせらぎ公園内での実施のアイデアを出し合ったが難しく、向かいに新しい公園ができるのならば、使用したい。	
道路・街づくり	位置指定道路で塀があって通りにくい箇所がある。民事の問題だが、問題解消のため補助を検討してもよいのではないか。	家の建替えや増改築を伴わない拡幅整備工事について、塀の撤去等に助成金を交付している。
交通	自転車のヘルメット着用を働きかけてほしい。	区内50か所の登録自転車店でヘルメットを購入するときに、2000円の助成を出すなど、ヘルメットの購入がしやすいようにしている。
交通	原付バイクの駐輪場所を増設してほしい。	区内の公共施設で、自転車置場の中にバイクも含めた置場の点検を進めていきたい。
教育	代沢小学校と花見堂小学校の統合に伴い、スクールゾーンの拡大をお願いしたいが、区の考え方を伺いたい。	子どもの通学の安全確保は重要であり、スクールゾーンの指定をすべきか否か、ほかの方法があるのかも含め、地元の状況を確認しながら進めていきたい。

教育	池之上小学校の建替工事に伴い、約2km徒歩通学している児童がいる。通学路の警備員は高齢の方が多いが、適正な待遇となっているのか。ワゴン車で送迎ができるとうい方がいいか。	当初マイクロバスを運行したが、予算執行について様々ご意見があり短期で終わった経緯がある。警備員の健康管理や待遇などについては、契約をしている教育委員会に点検を依頼する。
教育	小中学校において性の多様性や性暴力を含めた性教育を全国に先がけて進めて欲しい。	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関して普及・啓発を図ることは重要と考えている。「生命の安全教育」を全校で実施し、子どもたちが性暴力の当事者にならないよう指導していく。
公共施設	旧郵政省職員住宅跡地に高齢者が集える優先的な場所をつくってほしい。	高齢者クラブの皆さんがより元気に活動できるような場や機会を区としてつくっていききたい。
公共施設	地区内に児童館がない。代田南児童館は距離がある。	各まちづくりセンター単位に必ず1つ児童館をつくるという方針を決定しており、なるべく早い時期に整備していききたい。
公共施設	地域の子育て支援団体の交流会を開催しているが、活動場所の確保が課題。代沢東地区会館の優先使用を認めてほしい。	地区で活動する皆さんと分け合っ公共スペースを確保する仕組みについて、地区内で話し合っ
公共施設	赤ちゃんひろばの活動で池之上青少年交流センターを使用したいと考えたが、いわゆる箱貸しはしていないということで断られる。活発にやっという支援団体が活動しやすい状況をつくっていただきたいと思う。	たい。
公共施設	庁舎建設工事遅延について、建築家もメンバーとする第三者委員会による検証を行い、結果を公表してほしい。	事業に直接関与していない第三者、学識経験者を中心に、4名の方に入っ
公共施設	代沢地区会館の和室の利用は、特定の団体の利用が年間で決められている。抽選などにより広く平等に使えるようにしてほしい。また、床でも乳幼児が遊ぶことができるジョイントマットを配備してほしい。	いただいた検証委員会のようなものを検討している。 利用者による調整を経て、現在の利用形態となっていると聞いている。抽選で予約を受け付けてほしいとの要望が多い場合は有料での利用へ変更を検討していくことになる。ジョイントマットの設置は今後検討する。

その他	コロナ対策として、PCR検査の拡充や経費の補助、公共施設への空気清浄機の設置をお願いしたい。	保険診療でウイルスの増殖を防ぐいい薬が出ている。早く医者診療を受け、早く薬を処方してもらおう。これによって重症化を回避することができるのではないかと考える。
その他	LINEによる通報に対して区がどのように対応をしたのか、情報公開されているのかどうか知りたい。	区民の皆さんの情報であり共有すべきだと思っているが、仕組みも含めて今後検討させていただく。
その他	空き家を町会事務所として借りることができるのであれば補助をしていただけるか。	空き家を活用する窓口等はあるので、町会の事務所だけではなく、昼間は子育て広場をやっているなど複合的な使い方ができていくと、新しい時代の町会になると思う。

○新代田地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	ダイダラボッチの記念碑を、まもりやまテラスあるいはその周辺に作ってほしい。	プレートを設置するなどの設えを検討したい。
安心・安全	犯罪ゼロの日の認知度が低い。コンビニや駅にポスターを貼る等広報を工夫したらどうか。	総合支所にお話しいただき、担当部署などを確認した上で対応する。
環境・清掃・リサイクル	「脱クルマ社会」に向けて、環境に配慮した移動に関する取組みや補助54号線の現在に至る経緯と今後の取組みについて伺いたい。	地球環境にやさしい、持続可能な地域公共交通は、重要な課題と認識しており、デジタル技術を活用したデマンド型交通の導入をはじめ、小型モビリティに関する社会動向にも注視しながら環境負荷を低減した交通手段等の更なる促進に取り組んでいく。補助第54号線は昭和21年に決定された都市計画道路で、標準的には片側1車線ずつの道路を想定している。自動車から排出される二酸化炭素削減が課題となっているが、自動車からの二酸化炭素の排出量は、走行速度が低いほど多い傾向があり、交通渋滞の原因となっている交差点の改良、集中する交通を分散させるための道路ネットワークの形成など、自動車交通を円滑化する取組みの一つとして、引き続き道路整備事業に取り組んでいく。
福祉	地域包括ケアシステムは大事なことである。これを生かすため、住民の自治意識、行政との協働、地縁組織とアソシエーションとの融合をもっと押し進めてほしい。	地域包括ケアシステムはまさに住民自治が必要な仕組みであり、まちづくりセンターを活用し、町会・自治会、またNPO、その地域で動いている人たちがつながるようにしていただきたい。
福祉	ボランティアビューローの統合があったが、ボランティア活動をする場所が少なくなっているのか。	北沢地域にはボランティアビューローが2つあり、烏山地域に新しくつくるということで、代田ボランティアビューローを閉鎖した。跡地は行きどころがなかった知的障害のお子さんたちの放課後の場として活用されているので、福祉全体として後退しているということはない。

道路・街づくり	下北沢の線路街は飲食店が多すぎる。介護関連や高齢者向けスーパーなど地元住民に沿った商業施設の建設を鉄道会社に促してほしい。	線路街は人気が出ているので、観光公害や夜間の騒音など様々な問題が出てくるが、エリアマネジメントについて、地元の商店街等と話している。静かな住宅街と共存する、下北沢のまちのルールを、住民の皆さんが参加してつくり上げるような仕組みづくりをしていきたい。
道路・街づくり	下北沢の線路街に、教育や健康に関する商業施設も必要ではないか。小田急線沿線に限らず、事業者への働きかけをお願いしたい。	線路上部については、事業者は全て決まっているので、今後北沢の街づくりの中で、そのようなニーズを満たす施設をつくれるチャンスを見ながら考えていきたい。
道路・街づくり	大原では年々店舗が減り、高齢者にとって不便となっている。また、下北沢では古着屋など今風の店舗が増えて、元々の住民は買い物に行きづらい。	下北沢は古着屋のまちになっているが、少しずつブームが切り替わり始めている。今後はその地域をどうやって再生していくかという話になっていくのだろうと思う。
交通	南北の交通手段として有効なバスの日中の便数が減ってきている。日中に1時間に3本くらいあると助かる。	路線廃止などの情報があれば、まちづくりセンターを通じて総合支所へ寄せてほしい。区としても、バス路線を支えていくための支援策を検討している。
交通	下北沢駅前にハチ公バスのようなコミュニティバスが必要。特に区役所に行くのがとても不便。	大蔵でオンデマンド交通の実証実験をしている。うまくいけば10か所ぐらいに広げていこうと考えている。再度力を入れて取り組むことにしたい。
教育	不登校の子どもが日中サポートを受けられる居場所があるとよい。スクールソーシャルワーカーを学舎に1人で良いので配置してほしい。	まず、学校内での居場所の確保を考えている。また、少しでも魅力的で、一旦休んだり離れたりしても戻りやすい学校にすることに力を入れたい。スクールソーシャルワーカーについては、予算の問題があるが配置を強化していきたい。
教育	小学校で学級崩壊のような状態となり、保護者も団結して学校をサポートしているが、子どもたちへの適切な声掛けの仕方など、専門家によるアドバイスや一層のサポートが必要。	しばらくその学校に着任し学級を再建するようなスペシャリスト、ベテランの先生などを区で採用し、学校のレスキューチームのようなものをつくっていきたい。教育委員会、教育長にも伝える。

公共施設	羽根木区民集会所が廃止されると困るので、ぜひ存続してほしい。	利用率が比較的低いことから集会所廃止を説明させていただいている。福祉や子育てなど様々な用途で使えるような場で工夫はできないのか、地域振興課が皆さんの声を聞きながら解決策を探っている。
その他	区長は、小規模多機能自治を目指しているのか。	そこがぜひやり遂げたいことである。それぞれのまちづくりセンター管内で、相談しながら新しい仕組みをつくっていただきたいと思っている。
その他	空き家活用の展望を伺いたい。	不登校の子どもの居場所や子育て世代の交流の場、高齢者の趣味活動の場など考えられるが、区がすべてを運営するわけにはいかないため、住民自治として皆さんで運営する体制をつくっていただきながら、活用する仕組みを考えていきたい。
その他	小学校低学年は活動範囲が地域に限定される子が多いので、空き家を活用して、学校校区内に様々な居場所ができるようになるといい。	
その他	広島と長崎の原爆や、関東大震災時の流言飛語により在日朝鮮人の方が亡くなったことなど、様々な問題についてサポートしてほしい。	そのようなことについて、哀悼の意を表するなどしっかり発信していきたい。
その他	住民税非課税世帯への支援金の支給について該当は何世帯で、支給にあたり区の財政状況はどうなっているのか。財政的に可能なら非課税世帯に近い財政状況の方々への支援も必要と考える。	非課税世帯の方への給付金3万円は9万9000世帯を想定している。予算額は32億円強だが、全額国から交付金として交付される。物価高騰対策応援として、せたがやPayによる還元を行っている。
その他	住居表示について、退色しているものや広告の下に住所が書いてあるものなどあるが、調べて行っているのか。	総合支所にお話しいただき、担当部署などを確認した上で対応する。
その他	民生委員としてふれあい訪問している。住居表示が頼りとなるが、ついていない場合もあるので徹底してほしい。	
その他	ボランティア講習会における基調講演をやめてほしい。また、講師は同じ方ではなく、いろいろな講師を探してきてもらいたい。	総合支所にお話しいただき、担当部署などを確認した上で対応する。

その他	ふるさと納税について厳しいスタンスで取り組んできた一方で、区への納税を少しでも増やすためにPRを行っている。PRを行うようになった背景、趣旨と、改めてこの制度そのものに対する課題意識を説明いただきたい。	区のふるさと納税の返礼品の充実とPRについては、「やれることをやらないで、批判だけをしている」といった声があるので、少しでも税源を取り戻すため、また問題提起のため行った。一日も早い現状の制度の凍結、見直しを求めている。
その他	飼い主のいない猫についての講座の講師が何年にもわたり同一。同講座やその他の地域の動物関連問題には、都の推進員を活用してはどうか。	東京都動物愛護推進員やNPO法人、地域住民代表、行政担当者など「地域ねこ活動」を担う方からその時の状況等に合った講師を選定している。

○松原地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	町会・自治会の役員が高齢化していて担い手がない。町会・自治会のあり方について、区長の考えを聞きたい。	町会の中では、地域限定SNSをつくるというプロジェクトを始めている所もある。災害時の運営では若い人が先頭に立ってもらう必要があり、地域行政推進条例を活かしながら区も支援していく。
町会・自治会・コミュニティ	何日何時と決めずいつも誰かいるという場所を設けてほしい。老人は人生を語り合う人を求めている。	中央図書館では多くのイベントや事業を開催している。また、松原地区では、料理教室やスポーツ吹き矢など日々の生活や健康維持に役立つ講座に参加しながら知り合いを増やすことなどを目的とする、おとこ塾を開催している。加えて、多世代の交流を目的とする「茶話やか松原」をうめとぴあで開催している。多くの方と知り合い語り合う機会を設けているので、ご参加いただきたい。
町会・自治会・コミュニティ	若い人を中心に婚活、教養を深める、世の中を知る、人を知ることがを目的に自由な地域交流の場を作ってほしい。	青少年交流センターでは、多様な分野で活躍する人をゲストに迎え、その専門性や世界を体験するプログラムを設けており、若者が様々なことを知る、経験する機会と場を提供するなど、若者の活動を支援している。ご意見については、今後のまちづくりセンターにおける取組みの参考とさせていただきます。
DX	母子手帳を入手した時にダウンロードした子育てアプリがLINEに移行されたが、松原地区の情報がない。チラシはPDF化してハッシュタグを付けるなど、検索しやすくしてほしい。	ご意見は庁内でも共有させていただく。松原地区の情報がないということについては確認する。
防災	災害時の避難場所として、明大前駅駅前広場には、給水、防災トイレ、かまどベンチ、生活用水、太陽光発電による電池、給水用の貯水槽などを配置しておく必要があると考えるがいかがか。	駅前広場の空間は、震災時の帰宅困難者等の一時滞留空間としての機能も求められることから、提案内容については、防災機能の向上の一案として、今後の参考とさせていただきます。

防災	明大前駅駅前広場周辺の水害対策として、東京都は「東京都豪雨対策基本方針」を改訂し、区部では目標整備水準を時間最大75mmに引き上げたがこの地域は目標整備水準に達しているのか。	区では、「東京都豪雨対策基本方針」の中で、概ね30年後までに時間最大75mmの雨水対策を目指している。これを踏まえ、明大前駅駅前広場や補助第154号線の整備に関する設計を進める中で、雨水の浸透貯留施設の設置や透水性舗装の整備等を検討していく。
環境・清掃・リサイクル	利用しているおでかけひろばで、近隣の高齢者が子供の声に苦情を何度も言い、外で遊べなくなった。子どもの声は騒音ではないことを区からも訴えてほしい。	子どもの声は騒音なのかという問題提起により、東京都の環境確保条例が改正され、就学前の子ども声は騒音として扱えなくなった。子どもには育つ権利があるのだと、区の方でも理解してもらえるように言い続けていきたい。
環境・清掃・リサイクル	明大前の高架下(松原一丁目38番地)は他地区からも不法投棄している人が多いと聞く。防犯カメラで犯人を特定して高額の反則金をとる、または、行政として粗大ゴミ回収車を週一回走らせるなどして欲しい。	当該集積所への不法投棄を防ぐため、清掃事務所での継続的な排出指導や注意喚起の看板設置等を行っている。区では不法投棄を直接取り締まれないため、不法投棄を見かけた場合は警察署へ相談することも検討いただきたい。粗大ごみの収集車を周辺に走らせ、その場で収集することについては、収集効率性等の観点から実現は難しいと思うが、今後の収集形態の検討の参考にさせていただく。
福祉	認知症の方が利用するヘルプカードを知ってもらい、もっと普及させてほしい。	区では、履物や杖、カートに貼ったコードを読み取り住所が分かる仕組みを広げているところである。ヘルプカードも非常に有効である。今後は、通過すると反応するペンダントのような物で電子的に所在を確認できるような仕組みも導入したい。
福祉	認知症は意識改革が一番大事だと思う。区で認知症検診をしてもらえないか。	まちづくりセンターを会場として、もの忘れ相談会を開催しており、これをきっかけに精密検査に繋がるケースもある。看護師が相談にのる初期集中支援事業も区で行っている。うめとぴあの中に認知症在宅生活サポートセンターがあるので、活用してほしい。

福祉	東京リハビリテーションセンター世田谷について、区と南東北病院はどのように提携しているのか。	東京リハビリテーションセンター世田谷は、南東北グループという医療法人が運営している。区は職員のスキル向上支援等を行っている。
子ども	区の少子化対策の取り組みについてお聞きしたい。	現在、おでかけひろばが67箇所あるが、80箇所まで広げていきたい。特に、子どもが生まれた直後から保育園に入園するまでが孤立しやすいので、しっかりとサポートしていく。また、子育て世帯に対する住宅支援も本腰を入れていく。
子ども	里親認定基準の居室数の要件を緩和してほしい。	区が必要としている居室数の目安は、国から示されている「住生活基本計画(全国計画)による世帯構成員別の最低居住面積水準」に基づいている。また、子どもと里親家庭のマッチングの実施においては、区内にかかわらず東京都や他の特別区児童相談所設置区といった都内全域で行っている。そのため、里親認定基準は同一の内容としており、区が単独で里親認定基準を見直すことは難しい。
道路・街づくり	明大前駅前広場の用地にベンチを置けないか。	京王線明大前の連立事業用地は、京王線の工事で使われてしまうが、道路事業の区の用地は、地域の方々の協力のもと管理ができるのであれば、利用できる可能性がある。担当課と相談させていただきたい。
道路・街づくり	明大前駅前広場について、なかなか進展がないが、区長はどのような方針で広場を考えているのか教えて欲しい。	再開発自体は地区の地権者の合意形成が大事で、また、民間事業者の事業協力が必要になる。専門家派遣という形で支援してきたが、引き続き担当を含めて検討させて欲しい。
道路・街づくり	明大前駅前広場は、連立事業の計画決定から事業化まで非常にスムーズに進み、その間、地権者や街づくり課の職員と話をしてきたが、コロナの影響もあり3年間進捗がない。もう少し積極的に今年度から支援していただきたい。	
道路・街づくり	明大前駅前広場は空き地が増え、生活環境も悪化している。商店がなくなり、生活が非常に不便な状況なの	改めて区の体制を点検し、まちづくり支援を力強く行うよう、指示したい。

	で、できるだけ早くまちづくりを進めて欲しい。	
道路・街づくり	明大前駅周辺の交通について、京王電鉄、東京都、北沢警察署や松原1・2丁目、商店街の関係者で検討するような会議を考えてほしい。また、京王線の連続立体化事業完成までのスケジュールについても京王電鉄に確認して欲しい。	どのようなまちにしたいのかなどをトータルに話し合う場を作りたいと思っている。区と京王電鉄と東京都が入るかもしれないが、課題にしていく。
道路・街づくり	明大前駅の駅ビル内に、文化的施設や医療的施設などが作られることを希望する。	ご意見は京王電鉄にお伝えする。
道路・街づくり	京王線を地下化して緊急一時避難施設としてのシェルター機能を持たせられないか。	
道路・街づくり	明大前駅周辺は公園の少ない地域であるため、駅ビルに屋上庭園ができることを期待する。	
道路・街づくり	明大前駅周辺の街づくりについて、区の関係各部署、京王電鉄、松原1、2丁目町会、商店街、明大前駅周辺地区街づくり協議会、場合によっては、北沢警察署、都でプロジェクトチームを組成して欲しい。	高架下利用の計画については現時点では具体的な内容は決まっていないため、今後、皆様のご意見やご要望を確認しながら工事の進捗状況を踏まえ事業者間で計画の検討を進めていく。
道路・街づくり	都市計画課から明大前駅周辺地区街づくり協議会に対して、中長期的な活動スケジュールと毎年単年度完結の活動計画の提示を求められている。しかし京王線連続立体高架事業の大枠が示されていないため、協議会の活動をどのように対応させれば良いか検討のしようがない。	明大前駅周辺地区街づくり協議会の活動支援については、専門家派遣が地区街づくり計画策定後5年目となり派遣期限の限度を迎えている。そのため、昨年度末の審査会にて、「令和5年度は、街づくり専門家派遣の派遣期限を迎えるため、年度末に明確な活動成果を示すこと」と指摘されている。今後の活動については、他地区の街づくりの活動の事例を紹介することもできるので、今後の活動内容等をご検討いただきたい。
道路・街づくり	京王線連立については京王電鉄、また、都道23号線は都のスケジュールを提示して欲しい。	京王線の連続立体交差事業は2030年度(令和12年度)末まで、また、東京都市計画道路幹線街路放射第23号線(世田谷区大原二丁目～杉並区和泉二丁目)は、2030年度(令

		和12年度) 末までの事業認可期間として、都により事業が進められている。
交通	菅原天神通りに横断歩道や信号を設置して欲しい。	横断歩道や信号の設置は警察の役割となっているが、横断歩道を造るよう警察と交渉はできる。また、30キロ以上出せばいけないエリア(ゾーン30)の指定ができないかなどもあるので、後日、北沢総合支所からお答えする。
交通	松原一丁目38番の東側道路の道幅が狭いにもかかわらず、南北から車両が通行して危険なので、一方通行化すべき。	ご意見は、所管の北沢警察署へ情報提供させていただく。
交通	子どもはヘルメットを付けて自転車に乗っているが、母親や事業者は付けていないことが多い。着用を義務化する条例をつくって欲しい。	ヘルメット購入の補助は開始する予定だが、条例化については今後検討していきたい。
公共施設	地区内に児童館を作ってほしい。また、松原では出張児童館は行われていない。	児童館は、四者連携を担う大切なもので各地区に必ず設けるとの方針を立てた。ただ、ある程度の規模が必要なため、区の公共施設の改築などの機会を捉えて整備していく。出張児童館が行われていないということについては、児童課に伝える。
その他	ジェンダーレススポーツに関する取り組みがあれば教えて欲しい。	ジェンダーレスの問題に関しては、区でも色々な制度を進めているが、スポーツの中でどこまで進めているかについては、関係所管にも伝えておく。
その他	ふるさと納税できる区政の納税項目の細分化・多様化をすれば、流出額が減るのではないか。	医療的ケアが必要な子を応援することや認知症を見守る体制の強化など、半額は地元でふるさと納税してもらえるように、今後、号外も出してお願する。
その他	おでかけひろばに区の職員が視察に来ていたが、スーツ姿の女性一人、男性三人だった。ケアの現場であることを認識していただき、子育てや介護は女性が関わるので、意思決定の場に女性がどう参画するかを意識してもらいたい。	職員のジェンダーバランスや服装については、TPOをわきまえるように伝えていきたい。

その他	子育て世代だけでなく、高齢者の住宅支援も考えていただきたい。	区では、居住支援協議会という組織があり、高齢者が亡くなった時にお部屋の片付けの費用を補償するなどの仕組みがある。家賃の高さについては、子育て世帯の住宅支援も含めて、アイデアを出していきたい。
その他	区は家賃が高く、地域に愛着があるのに出てしまう人が多い。定住する子育て世代を確保するため、税制の優遇や建築上の優遇等の施策が重要だと思う。	

○等々力地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	昨年の区のスマートフォン教室にボランティアで参加した。世代を超えた交流を行えたことは貴重な経験になった。今後このような機会をもっと増やしてほしいし、自分も参加したいと考えている。	ご協力に感謝する。世田谷区は大学生が多く、遠方から下宿している学生も含めた多世代間の交流の機会を増やしていきたい。
DX	区長へのメールでデジタル化に関して意見を出し、「あらゆる世代が安心して住み続けられる世田谷をともにつくるために、デジタル技術を活用して、区政を再構築し続けていきます」との回答だったが全く分からない。デジタル化をしっかりとやってほしい。	参加と協働ということで、共に知恵を出し合い新しいものを作っていこうという趣旨である。どういう形で意見を生かしていくかを考えていきたい。
DX	区のデジタル化を進めて欲しい。	区のDX推進方針のもと、行政と市民、公共機関、さらに民間事業者との参加と協働による、デジタル技術を活用したネットワークづくりに取り組んでいく。
防災	2019年の台風19号で、尾山台と玉堤地域は大きな被害を受けたが、最近になってようやく補修工事が完了した。工事完了まで4年かかるのは、行政の動きが鈍いのではないか。	国に台風で大量に流れてきた土砂の除去を要請し、1年ほどで完了している。また、堤防の整備について、川崎市、大田区と連携し、国土交通省京浜河川事務所が前倒しで進めている。
防災	尾山台3丁目で2018年の集中豪雨災害の工事が進み、今年の3月までに工事するという告知がでたが、商店街の一部が残ったままである。どうなっているのか。	後ほど詳しく状況をお聞きする。
防災	谷沢川に排水ポンプを設置してほしい。	谷沢川は都が管理する河川であるため氾濫の対策は都が行い、また、玉川排水樋管は国の設備になるので、排水ポンプの整備の際には、国と都が協力して行うものと考えている。現在、国・都から排水機場の整備の打診はないが、排水ポンプは水門付近の浸水被害軽減の対策として有効であるため、今後も引き続き国や都に整備を要望していく。

防災	都が、震災発生時の火災危険度を町丁目ごとに示しているが、さらに詳細を示して欲しい。	都は「地震に関する地域危険度測定調査」を実施し、火災危険度について、町丁目ごとに地震による面積当たりの建物全焼棟数「火災危険量(棟/ha)」を算出し、その数値を5段階のランク別の相対評価により示している。区では、都のホームページを案内し、地域危険度の周知に努めているが、詳細な情報については都に問い合わせたい。
安心・安全	公園に監視カメラを設置し、親が子どもの状況や公園の状況をスマートフォンで見られるなど、セキュリティを充実してほしい。	電柱や公園に防犯カメラはあるが、カメラの設置には様々な意見があるので、ご意見は子ども・若者部と共有していきたい。また、区では自動販売機のメーカーと連携して監視カメラを設置している例もある。
環境・清掃・リサイクル	太陽光パネルを学校に設置してほしい。	学校の改築や改修の機会に設置を進めていく。
子ども	玉堤 2-3 の児童公園が閉鎖になり、子どもだけで遊ぶ場所が近隣にない。子どもだけで遊べる児童公園を考えてほしい。	区では、そとあそびプロジェクトということで子どもたちの遊び環境、体を動かして友達と遊ぶということはとても大切で、推奨している。遊び場づくりについてご提案があればまちづくりセンターも含めてご相談をしてほしい。
子ども	玉川総合支所はおむつを替えられるスペースはあるが、子どもを遊ばせるスペースがないので、一室設けてほしい。	玉川総合支所1階に、小さいが来庁者用の子どもが遊べる場がある。建物の外にはポケットパークというスペースがあるので遊んでいただけたらと思う。それ以外大きくするのは難しいが検討していきたい。
子ども	赤ちゃんの一時保育の預け先が少ない。2時間、3時間でも良いので一時でも預け先があるとありがたい。	一時預り事業については保護者の通院や出産等のほか、子育て不安や育児疲れ等により必要とされる場合において、定員は設けているが既存の区立保育園、私立保育園で実施している。
子ども	児童館の現状に非常に満足しているのでこのまま残し続けてほしい。	区内に児童館は25館ある。まちづくりセンターは28地区あるが、1地区に2館ある地区もあれば、地区内に児童館がない地区もある。区で

		は大きな方針として1地区1児童館を作っていくことを決めている。
子ども	多胎児の母親が児童館に行くことのハードルが高い。子どもと自分の支度をするのが大変で、家の中に閉じこもってしまう方が多い。ツインプラスサポートやタクシーの助成もあるが、家庭によっては兄弟を連れてくることもハードルが高く大変。今後施策を検討する際は、多胎児の支援に加え、その兄弟がいることも考慮してほしい。	区としても多胎児の親への支援を強めていきたい。どのような支援が必要か、ご提案をいただきながら検討していきたい。
子ども	等々力1～2丁目、尾山台2～3丁目エリアにオムツ替えのできる赤ちゃん連れの遊び場を設けてほしい。	指定のエリアから少し離れるが、等々力児童館があり、乳児連れで利用いただける。また、オムツ替え台や授乳スペースを備えた「おでかけひろば」を令和8年度までに12か所増やしていく計画だが、既存のおでかけひろばの設置状況や実施主体の希望、物件等を勘案し、開設場所を検討していく。
子ども	産後の5万円分の家電プレゼントの商品群の見直しをしてほしい。区のLINEや庁舎でアンケートBOXを設けてみてはどうか。	令和4年度実施の「家事支援用品購入支援事業」についてはコロナ禍において、時限的に実施した事業のため、令和5年度以降の実施の予定はない。ご意見については今後の施策の参考とさせていただく。
子ども	満3歳児保育を幼稚園でとり入れてほしい。	区立幼稚園では4・5歳児を対象とした2年保育を実施しており、満3歳児保育(4年保育)の実施予定はないが、区立幼稚園の集約化に合わせて3年保育導入の検討を進めている。私立幼稚園では満3歳児学級の設置は各園で判断している。いただいたご意見については各園にも伝える。
子ども	車座集会で実施しているひととき保育を区として拡充し、児童館や玉川総合支所でサービスを提供してほしい。	ひととき保育は、子育て中の方が、区等が主催する学習会や地域活動等に参加しやすいように、その学習や活動中に一時的にお子様を預かる事業である。常時、一時預りを実施してい

		る「ほっとステイ」は、今後拡充の計画はないが、現在区内に24か所あるので利用してほしい。
みどり・公園	猫じゃらし公園は、区内では珍しくはらっぱのある公園である。遊具で遊ぶよりも、自然と触れ合う方が小さい子供には重要だと思っており、玉川野毛町公園についてもこのような方向で進めて欲しい。	玉川野毛町公園の拡張では、用地をあまりいじらずに地形や木や草を利用しながら造ろうとしている。猫じゃらし公園は、住民の方の声をきいて実現した公園で、参加と協働の良い例だと思うが、そういった形の公園づくりに力を入れていきたい。
みどり・公園	玉堤2-3の児童公園が廃止され、子どもの遊び場が近くにない。	玉堤2-3遊び場は、区が土地を借り受けて開園したが、やむを得ない事情により土地を返還することとなり、閉園となった。地域に日常的に気軽に利用できる公園、広場等が少ないことは認識しており、地価の高騰が続く中、公園用地の確保は容易ではないが、土地の買取りや未利用地の使用貸借など、多様な方法により公園、広場等の確保に最善を尽くしたい。
道路・街づくり	この地域は、戸建てがゆったりと建てられた環境だが、最近では土地が分筆されることが多いと思う。今後、戸建てやアパートのバランスをどのように取るつもりか。	相続により1軒の家が3軒に分かれ、緑のない2・3階建ての家が並んでいく。区として規制も加えているが、集合住宅にして緑を残していけないかと思っている。また、オーナーにファミリー型の賃貸住宅を作ってもらえるよう誘導していきたい。
道路・街づくり	等々力大橋の建設状況を知りたい。等々力6丁目公園前の通りが一方通行のため、双方向通行にしてほしい。	等々力大橋は東京都と川崎市が事業主体で、2025年完成を目指している。工事の状況がわかり次第お知らせしていきたい。
道路・街づくり	多摩川沿いの地域において、個人住宅が隣地ぎりぎりに建てられることにより、まちの趣が変化している。景観だけでなく、防災やコミュニティの繋がりの面、緑化の面からもこの様な建物が増えていることに憂いを抱いている。個人住宅の屋上に植栽しても地域住民が目にするのではなく、意味のある緑化をしてほしい。	土地の細分化については、用途地域や建蔽率、容積率など都市計画に関わる決まりがあり、また、緑化のあり方については、環境に適したみどりの質や機能をより効果的に発揮し、多様なみどりを活かす街づくりを目指していく。ご意見については、玉川地域の今後のまちづくりの参考にさせていただく。

交通	大井町線の自由が丘と二子玉川間を高架化あるいは地下化してほしい。この間を遊歩道にして、目黒区と協力して良い街にしてほしい。	大井町線の高架化は必要はあると思う。自由が丘の再開発の件で目黒区からも話は来ているが立体交差化、連続立体交差化事業を決定するためには、現在道がないところに都市計画道路を2本通さないといけない。踏切事故をなくすため、交通渋滞の解消のためにも、鉄道会社とも今後協議していきたい。
交通	東京都市大学の学生数が増えており、通学時に道路に広がって車が通りにくい。都が電柱の地中化を進めているが、いつ頃地中化されるのか。通学路になっている場所を優先して進めてほしい。	東京都市大の学長も含めた大学長懇話会を開いているため、交通に支障をきたすようであれば警備の方を出していただくなど支所を中心に検討を行いたい。また、大井町線沿線の地域の皆さんと、東急電鉄との連絡会の中で議論していきたい。
交通	尾山台駅の商店街は狭く、裏の道も学生で溢れている。駅の改札口を九品仏側にも作ってほしい。	
交通	東京都市大の学生の道路や商店街の通行について様々な意見があるが、学生も地域になじんでいっており、地域に住んで生活するという意味では、お互いに折り合いながらやっていくことも大切だと思う。	区内では、明治大学が学生が多いが、甲州街道を渡る歩道橋が狭く、学生でいっぱいになるという問題があった。そこで国土交通省と協議し、幅を広げる工事をしてもらった。このように地域や大学の声を受けて国に掛け合うということもある。
交通	尾山台商店街は東京都市大の学生や商店への納品等の車両で一日中混雑している。神楽坂の商店（道路等）は逆転式一方通行を採用している所が多いため、玉川警察署との協議を含めて検討してほしい。	商店街で、路上駐車取締りや交通整理を玉川警察署に依頼していると伺っている。逆転式一方通行は、全国的にも稀有な事例であるため、商店街の意向が重要な要素になる。商店街に一方通行にする意向はないようだが、今回のご意見は商店街にも共有する。
教育	区立三島幼稚園をなくさないでほしい。地域に1つ区立幼稚園を残す計画とのことだが、玉川は広いためカバーできない。要配慮児の受け入れ先としても重要。入園を希望する子が遠方だからとあきらめるような状況は作らないようお願いしたい。	幼児教育無償化後、区立幼稚園の定員が半分になっているという状況の中で、集約化の計画を立てている。配慮が必要な子をどのようにカバーできるかを検討している。三島幼稚園の良い部分を残してほしいという気持ちを受け止め、一緒に考えて解決していきたい。

教育	玉川小学校の生徒がプールの授業の際に中町小学校まで歩いている。騒音が理由でやらなくなったと聞いたが、室内プールにすればよい。	改築の際に屋上にプールを造っているが、暑すぎて使えない日が続出しており、改築にあたって1校に1つずつプールを設置するのか、学び舎単位で1つ温水プールを作るのかなど教育委員会とも検討する。
教育	三島幼稚園の廃止は困るという意見があるのなら、残せばよいのではないか。	各地域で5園残すのは決まっている。ただし、それぞれの園が抱えている課題や保護者からの声についてはきちんと話し合い、よりよい形にしていきたい。
教育	不登校の問題について、保護者への支援、学校現場の改善をお願いしたい。	先日の教育総合会議では、どうしたら行きたくなるような学校に変えていけるかを議論した。また、区として慢性的に先生が足りず、経験の浅い先生も多く悩まれており、学校を支える教育総合センターの取組みも必要と議論している。相談窓口についても改善していきたいが、不登校で悩んでいる親同士の交流の場もあるので利用してほしい。
教育	速やかに校門をオートロック化してほしい。	校門のオートロック化は、校門改修や電気配線等の工事が伴うことから、個々の状況を確認しながら、学校の改築や大規模改修などの機会をとらえ順次進めていく。
教育	尾山台小学校の校庭の砂が、風が吹くとまい上がり外へ飛ぶ。校庭に面した住居では、2階の窓をしめ切ってもザラザラする。道路上にも砂が落ち、雨が降った後など道路脇に砂がたまるため、対策してほしい。	尾山台小学校の校庭は、区内で一般的に使用しているグリーンダスト舗装だが、近隣住宅との距離が近いので、風により舞い上がった舗装材が周辺の住宅に影響を及ぼしやすい。ご意見を踏まえ、当校敷地南側に面する道路に沿って、防塵対策を施していく。
教育	尾山台中学校の生徒から「冷たい給食をなんとかしてほしい」という声強い。配膳室を拡張して「自校方式」に切り替えてほしい。	給食室の整備については、学校の改築や大規模改修の機会を捉えて行っており、尾山台中学校についても、機会を捉えて自校調理化の計画を検討していく。
教育	難病の子に対する学業面でのフォローをしてほしい。また、教員の人員確保や配置等教育環境づくりを	区では、全ての小中学校に対し、学習に困難さを抱えるお子さんを対象に、非常勤の教員を配置し、特別支援

	してほしい。	教育の一環として、個別の学習支援を行っている。また、医療的ケアが必要なお子さんに対しても必要に応じて看護師の配置を行い、安全に学校生活を送れるよう支援している。さらに、見守りや声かけの支援が必要なお子さんに対しては、学校生活サポーターを活用しながら、学校生活を支えていく体制を整えている。都では、病弱により医療又は生活規制を必要とするお子さんを対象に学校を設置している。病弱により、学習面の遅れが生じ、心理的に不安定な状態である等のお子さんに、少人数で一人ひとりの状況に応じた教育を行うことを目的としている。ご検討の際は、就学相談の中でご相談に応じている。
教育	難病にかかる装具や医療物品の助成費用を増やしてほしい。	重度障害者（児）に対して、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付し、日常生活が容易なものとなるよう「世田谷区重度障害者（児）日常生活用具給付事業」を実施している。ストマ装具の助成基準額については、令和5年10月より拡充予定である。さらなる拡充は、財源等の課題もあり慎重な検討が必要だが、機会を捉えて国や都に意見をあげ、さまざまな支援策を勘案しながら、区民の福祉の向上に取り組んでいく。
教育	玉堤小学校のトイレが古い。冷房やユニバーサルベッドを設置する等、利用しやすくしてほしい。	トイレの設置については、学校の改築や改修の時期に合わせてユニバーサルデザインやプライバシー等を考慮し、可能な限り使用しやすいものに整備する。
公共施設	色々な施設にエレベーターが無い。車いすの方が利用できないため、簡易エレベーターのようなものを各施設に設置してほしい。	ユニバーサルデザイン推進条例があるので、いつでも誰もが地域に参加できるよう、順次バリアフリー化を進めていきたい。
その他	ふるさと納税について 1 専門チームを立ち上げているのか	区では、経営改革・官民連携担当課にふるさと納税対策担当を設置し、寄附文化の醸成とふるさと納税対策を

	<p>2. 期限を決めてその成果を発表しているのか</p> <p>3. できること、できないことを話し合っ共有しているか</p> <p>4. 事の重要性を認識しているか</p>	<p>推進している。また、区のおしらせ特集号や区ホームページに、寄附の実績を掲載するなどし、区民に報告している。区では、これまで、区の実績に共感・応援いただくことを基本にふるさと納税を募るとともに、区の施策への理解促進や世田谷の魅力発信につながるよう、障害者施設の自主生産品や世田谷みやげ等をお礼の品としてきた。しかし、区の税源流出額は拡大しており、他自治体に在住の方からの寄附につなげるため、区の魅力を伝え、来街を促すようなお礼の品の充実にも取り組んでいる。また、制度の抜本的な見直しについても、引き続き、23区一丸となって国に求めていく。</p>
--	--	---

○用賀地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
町会・自治会・コミュニティ	地域の若者で、まちに参加したいがどうすればよいか分からないという人が多い。地域への参加の仕方を増やせないか。区と住民が一緒になって企画をしたりして関わられるポイントがあるといいと思う。	地域の人たちと若い世代が融合して企画等、進めていただきたいと思っている。また、どのような取り組みをしたら各コミュニティの活動が活発になるかを考えていく中で、中間支援組織のようなものを区で作れないか考えている。できれば地域限定SNS等を使って細かな情報のやり取りをインタラクティブに顔を合わせながら取り組むことができるとよいと思う。
町会・自治会・コミュニティ	若者の意見と町会をどのように結びつけていくか。任意加入である町会と住民が繋がりを持つ場がない。	地域ゼミができて、町会を研究する学生もいるなど、大学も変わってきている。大学や高校への呼びかけ、きっかけづくりの場所として活動フロアを活用してほしい。
防災	中学校での避難所運営訓練の際、無線機が職員室内にあるため通信訓練を一度も行ったことがない。まちづくりセンターとの通信訓練ができるようにしてほしい。	放送機器の使用も想定されるので、危機管理部や教育委員会と協議しながら、どのようなことができるかを考えていきたい。
防災	避難所運営訓練を区がバックアップして、教育委員会や学校、中学校の生徒も一緒に参加する仕組みを検討してほしい。	災害時には、町会の方だけで全部を担うことは難しく、中学生や高校生、企業を含む皆さんで行う以外にないと思われる。たくさんの方が動く仕組みができるとよいと思う。
防災	玉川総合支所や二子玉川まちづくりセンターは多摩川の浸水地域に入っている。浸水した場合には役に立つのかどうか問題だが、そのことを考慮して造ったのか。	玉川総合支所は、ハザードマップ上は浸水想定地域から外れているが、二子玉川まちづくりセンターは低い場所にある。二子玉川分庁舎は一定の水準を超えると孤立するため、その場合は本部を玉川総合支所に置く計画としている。水害特別訓練を行い、様々な課題が出てきたので、今後も体制を強化していく。
防災	防災無線が最近使われていないのではないか。緊急時の広報はどういう手段で行うのか。	防災無線は現在も使用しているが、聞こえないという苦情はある。聞こえなかった際は、内容を確認できる電話番号がある。また、災害時の広報に関しては、エフエム世田谷のほか、

		インターネットやツイッター等でも行っている。
子ども	こども基本法が今年の4月に制定されたことを踏まえ、政策実現に向けて積極的に若者の意見を取り入れてほしい。また、大学生や20代の若者が車座集会のような場に来てくれるような工夫をしてほしい。	区では、基本計画において、子どもの声を取り入れていこうと考えおり、子ども・若者・大人で一緒に取り組んでいきたい。車座集会は4年に1回の開催のため、活動フロアを使い、まちづくりセンターがいろんな声を受け止めて、若者が参加する場を作っていきたい。
みどり・公園	上用賀公園拡張工事に関して、4月担当者が変わった際、引継ぎがされていなかった。しっかりと引継ぎをしてほしい。	災害時は防災拠点として、平時はスポーツ公園として使用する整備を進めている。しっかりと引き継いで整備を進めるよう伝えておく。
道路・街づくり	上用賀4・6丁目で、上用賀公園拡張工事をはじめ工事が多く行われているが、何が建設され、どの段階なのか住民から不安の声を受けることがある。町会だけでなく、近隣住民の方に丁寧な説明をしてほしい。	それぞれの工事で周辺の住民にご案内はしていると思うが、その範囲が限定的で、もう少し広く見ると影響を受ける方が多いと思われる。何ができるか考えていきたい。
交通	エイトライナーの現状と将来の展望を教えてほしい。	事業の継続性や採算性の課題、各区の共同運営による財政負担などから、モノレールやバスでの運用の検討や、環状七号線と環状八号線を結ぶ路上の交通網も協議された。コロナ禍で5年ぶりにエイトライナー促進協議会が開催されたが、各首長も替わり、一番実現可能な選択肢を絞り込んでいく段階である。路上を走るものなら5年後くらいにはできると思うが、地下鉄やモノレールの場合、順調にいったとしても20年ほどかかると思う。
交通	自転車のルール違反や電動キックボードの導入について、交通安全教室を設置してほしい。砧公園内に以前造られた自転車普及のための施設が放置されているので、これを活用してはどうか。	交通安全に関して警視庁や東京都とも話していく。砧公園の活用については、都と自転車の担当所管に伝えておく。

交通	<p>渋谷駅から成城学園前駅へのバスや都立大学駅から成城学園前駅へのバスが廃止され、交通が不便になった。用賀地区は縦2キロあり、高齢者が非常に多いので、バス会社と相談し、利便性を良くしてほしい。</p>	<p>渋谷駅から成城学園前駅までの路線は、東急バスと小田急バスによる共同運行が終了し、現在は東急バスのみの運行となったが、便数はほぼ同じとなっている。都立大学駅から成城学園前駅までの路線は、令和3年3月31日をもって廃止となった。事業者からは、コロナ前の水準までは利用者の回復が見込めず、運転手不足も一層深刻化し、非常に厳しい状況であると聞いている。より多くの方にバスを利用いただくことが、路線の維持や運行改善につながる事をご理解いただきたい。</p>
教育	<p>京西小学校改築の際に仮設校舎だけで4億円かかった。最終的に壊すものに費用をかけるなら、例えば、用賀小学校を改築する際には、上用賀公園に建てて、土地を入れ替えるようなことは考えられないのか。</p>	<p>仮設校舎は費用だけでなく、建設と解体の期間の削減も課題であり、中学校の空いた教室に小学生が通いながら建て替えを行う工夫や、仮設校舎を別の場所に建設することなども検討している。</p>
教育	<p>区の私立中高一貫校に入学した娘がいじめにあい、不登校となった。区立学校に対しては、「せたホッと」を利用して問題解決への支援を受けられるが、私立学校に対しては私立学校法の自主性という観点から介入できない。「せたホッと」の私立学校相談窓口の設置、また私立学校に対して実質的かつ強制的に問題の是正を命じることのできる組織を設立してほしい。</p>	<p>世田谷区子ども条例において、区の全ての機関は「せたホッと」の活動に協力しなければならないと定めている。一方、私立学校など区の機関以外の保護者や区民、事業者については、条例による強制力はないが、「せたホッと」による調査等、その活動に協力するよう求めている。これまでも私立学校に対して調査にに応じてもらうように努め、実際に訪問をした実績もある。私立学校については、基本的には都が所管しているが、「せたホッと」が私立学校のいじめ問題について相談を受けた際は、条例の趣旨を学校側に伝え、相談者である子どもの困りごとをともに解決に向けて進めていくよう努めている。また、各総合支所保健福祉センター子ども家庭支援課では、子育てや家庭の不安、悩みについて、関係機関と連携しながら支援を行っている。ご心配なことなどがあれば、ご相談いただきたい。</p>

公共施設	熱中症対策として野毛町公園の野球場にナイター設備を設置してほしい。	ナイターを実施している大蔵第二運動場のプールの場合、大変涼しく好評で利用率も高い反面、騒音の苦情もあるので、その部分の兼ね合いが課題である。公園の所管課と再度話をしていく。
公共施設	新庁舎内に、町会で使える会議室を作してほしい。また、上用賀公園の中にも会議ができる部屋を作してほしい。	新庁舎には、区民活動スペースや休庁日にもミーティングができる会議室を設ける予定である。上用賀公園内は、建築できる面積を最大限使って施設を入れる基本計画となっている。意見として担当所管に伝えておく。
その他	マイナンバーの不都合が見つかり、国が全国に点検を指示したことについて、区長は苦言を呈されていたが、現在の状況を教えてほしい。	総点検は2段階に分かれており、第1段階は、国の手順通りに手続きを行ってきたかどうかのアンケート調査のような形式であり、その通り行っていれば、その後の個々のデータ点検は不要の仕組みである。8月上旬頃までに国に報告することになっており、順次回答している。

○祖師谷地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	参加と協働で進めている事業をまちづくりセンターレベルでどんどん進めていただきたい。不登校問題、防災等いろいろなテーマについて、まちづくりセンターがファシリテーターとなってやっていただきたい。	あるまちづくりセンターでは、若者グループ、商店街のほか、企業が協賛して120人規模で防災講座を開き、非常に盛り上がった。災害でないときに知り合っておかないと力を合わせづらい。支所やまちづくりセンターでも、避難所運営訓練などをするとき、高校生、大学生等若い世代にも声をかけて広げていくと同時に、車座集会のようなまちづくりセンター単位でのコミュニティーができるといいと思っている。
DX	若者に区の施策の情報が届いていない、又は関心を持っていないように思う。SNSやDXを活用して若者へどのような施策をしていくのか。	若者も困らないと関心を持たない。どう伝えるか、どういう形なら参加するか、試行錯誤していきたい。また、若者に限らず区民にどう情報を伝え、気安くレスポンスいただけるか、試行錯誤していきたい。
防災	避難所運営に関して、行政にもっと前に出てきてほしい。また、大地震の際は、避難所の開設に指導力を発揮していただく方を総合支所長が任命し、いち早く駆けつけてもらう体制を作ってほしい。	区は災害対応については連絡体制や指揮体制を作る時間も必要となる。72時間は皆さんで運営をお願いしている。災害対策課が避難所運営マニュアルを見直している中で、開設の仕方などファーストアクションカードを作成してわかりやすくすることを検討している。また、ボランティア協会が、大学のキャンパスにボランティアの臨時窓口を作って出動体制を整えているので、そういうことを訓練などの際に共有できるとよいと思う。
防災	祖師谷地区は、首都直下地震が起きると区内最大の延焼被害になると想定されてる。地区内に270か所消火栓があるので、区道の消火栓の近くにスタンドパイプを設置してほしい。	スタンドパイプの設置場所については、郵便局やコンビニに設置してもらえないか検討する準備をしている。
防災	駅前広場に防災倉庫を設置してほしい。	駅前広場は道路という位置付けなので、道路に倉庫を建てるとなれば手続きが必要である。それほど広い場

		所ではないので、地区の中での調整が必要となってくる。
防災	家庭の消火器の助成について検討してほしい。	消火器の助成については、まちづくりセンターを通じ予算を取りまとめることになる。災害対策課と調整しながら取り組んでいきたい。
防災	発災から 72 時間の避難所の開設と運営を、住民や住民組織に委ねるのはいかなものか。発災後の施設の安全点検は行政が行い、避難所開設の判断に行政が参加する体制とルールをつくり、訓練を行う考えはないのか。	大規模な震災発生時の対応は、行政だけでできるものではなく、自助、共助の考え方のもと、地域住民の協力による取り組みをお願いしている。職員参集にも時間を要するため、区の態勢が整っていないくても避難所の開設・運営が可能なように、各避難所運営委員会においてマニュアルの検討・整備や避難所運営訓練に取り組んでいただいている。避難所となる施設の安全点検は、最終的には区による応急危険度判定を実施する。それよりも前に避難所を開設する場合を想定し、暫定的な初期診断を避難所運営組織で行っていただく場合もあるが、調査者に責任を負っていただくことは想定していない。避難所開設の判断は、可能な場合においては区や学校と協議の上、行うこととしている。
防災	消防による組織的な消火活動が困難な災害時、住民による消火・延焼防止活動のため、スタンドパイプの配備をしてほしい。	消防資機材の動向を注視するとともに、方向性の検討段階である。地区ごとの特性に合わせた災害対策については、修正予定の地区防災計画に位置付けるなどして、対応の方向性とあわせて検討してく。
防災	祖師谷小学校の避難所開設にあたり、火災・延焼に住民が対応する必要がある地区特性を踏まえると、住民（住民組織）が区職員に先行して避難所の開設準備作業に入ることは困難。祖師谷地区、祖師谷小学校の実情に即した具体的な対策と準備を住民（住民組織）と一緒に検討することを強く希望する。	震災発生時には、被害状況等により区職員で十分な人員を確保することは困難であり、不確実性が高い前提で運営体制を検討することのリスクを踏まえ、自助・共助の考え方のもと地域住民が主体となる避難所運営委員会による初動対応をお願いしている。区も時系列の行動目標のチェックリストを定め、参集人数に応じた指揮系統を構築し、順次対応してい

		<p>く。</p> <p>自身や家族の安全確保が第一であることは大前提であり、その上で可能な方については避難所開設・運営について協力をお願いする。</p>
福祉	<p>精神科の訪問看護を行っており、保険証で3割負担となるが、自立支援医療受給者証があればもっと負担を抑えられる。このことを知らない人や申請できない人が多く、申請を代理で行っているが一人で行うには限界がある。</p>	<p>厚生労働省の方針で社会的入院を避け、調査をして意思があれば自立生活への誘導を始めているところである。地域で暮らしていけるよう、引き続きお願いしたい。</p>
福祉	<p>あんしんすこやかセンターの体操の会について、無料が有難いが受益者負担とすべきではないか。他にもこういう不公平があるのではないか。</p>	<p>区民の方に身近な施設で無料で実施することにより、幅広く参加していただき、介護予防に取り組むきっかけづくりとなるように実施している。</p>
子ども	<p>「チャイルドライン」について、存在があまり知られていないので、周知をお願いしたい。</p>	<p>区の「せたホッと」という電話相談機関は、認知度は9割近くまでになり電話が取れない状態にまでなっている。「チャイルドライン」も、改めて役割や位置づけについて検討したい。</p>
子ども	<p>おでかけひろばが祖師谷には少ないと感じる。</p>	<p>今後、おでかけひろばの少ない地域に対して重点的に増やしていく。できれば自分たちで運営していくことに協力いただければ実現が早い。</p>
子ども	<p>保育園に勤めているが、保育士が不足している。保育園はたくさん造っているが保育士は少ない。何か策を講じているのか。</p>	<p>宿舍借り上げ事業により、保育士3000人に対し一人82,000円分の助成を行っている。ただし待機児が多いことの緊急措置なのでずっと継続するかはわからない。国や都に継続を要望していく。</p>
道路・街づくり	<p>補助216号線の祖師谷小学校や成城学園の前の道路は一方通行で、甲州街道や246号への抜け道となっている。朝からトラックが多く、子どもの通学上問題がある。狭隘道路の通学路で通行止めになっていないところはどのような対策をしているのか。</p>	<p>学校と地域の方で通学路の安全確認を行う。玉川地域では通学路については、ゾーン30を指定して、警察も一緒になってまちの安全性も高めている。ドライバー、自転車、バイクにも意識してもらうよう啓発を行う。ハードな取り組みとしては看板設置などもあるので、警察と協力しながら対応していきたい。</p>

道路・街づくり	隅切りに電柱があり消防車が角を曲がることができなかつたので対策をしてほしい。	道路上の電柱について、土木管理事務所に情報共有し、東京電力に確認してもらおう。
道路・街づくり	大蔵団地の新しい工事が始まって、道が封鎖された。祖師谷団地の建替えにあたり、使えなくなる道路があるのか。	祖師谷団地はこれから着工のため工事のルート等も今後決めていくことになる。まちづくりセンターにも情報コーナーを設けているが、着工前にJKK職員が現地で相談会等を行うと聞いている。障害者施設や高齢者の居場所、防災上の機能等もご意見をいただき相談をしながら進めていきたい。
道路・街づくり	榎の交差点について、渋滞がひどいので新道ができ解消されたが、道が複雑になってしまって、歩行者がとても危険な状況である。小・中学校があり子どもも多く通るので一度確認をお願いしたい。	支所長が後ほど確認させていただく。
交通	自転車ヘルメットの着用が義務化されたが、区の補助の進捗状況を教えてほしい。	7月から2000円助成を行う予定であり、せたがやPayで支払うと2割引きになる。1万人を上限としている。
交通	山野公園の歩道を2m程度ずらし、駐車場所として使えるようにしてほしい。	山野公園は都市公園であり、都市公園法第16条が適用されるため、公園の面積を削るようなことは難しい。
交通	祖師谷団地の建て替えに合わせて、大型バスの発着場を整備してほしい。環八から入り、祖師谷団地内で乗り降りして、祖師谷通りを北上できるようにしてほしい。	祖師谷地区は広幅員の道路が少なく大型バスは通行が難しいが、身近な道路の拡幅や道路ネットワークの構築に取り組んでいく。祖師谷団地敷地内のバス発着場の整備の要望については東京都住宅供給公社に伝える。
交通	くるりんバスについて、7時台の増便はあまり利用がないようだが、ほかの時間帯の増便はできないのか。	運行事業者からは、7時台の増便は、朝の時間帯に利用者が増えているというデータに基づき実施したと聞いている。朝以外の増便に関しては、運行事業者へ働きかけを行っていく。
教育	区立図書館はこれ以上民営化せず、民営化した区立図書館を直営に戻してほしい。	区議会でも指定管理化の意見もあれば反対の意見もある。先日、図書館ビジョンを作る話し合いに参加し、民営化か、直営かだけでなく、これから

		時代に合わせてどう変わっていくことができるか、区として取り組んでいくと話した。図書館はコミュニティのスペースでもあり、お子さんへの読み聞かせなど様々な活動があるので慎重に考えていきたい。
教育	祖師谷小学校の特別支援学級の支援員をしているが、週 5 日だけでは授業時間がおさまらないため、土曜授業日が月 1 回ある。週 6 日通学するのは大変疲れるため、今一度再考してほしい。	不登校生徒の居場所づくりや教員の成り手不足の問題と併せて考えていきたい。
教育	図書館の指定管理の動きに心配している。図書館は職員の力が大きく、魅力的な企画があっても、職員の異動でなくなってしまう。職員は区の財産なので大切に育ててほしい。	全国には、住民がワーカーズコープという社長のいない共同労働組織をつくって運営している例もある。住民の皆さんが質をキープすることもでき、新しい職員がそれに気づいて育っていくのがよいと思う。
教育	教育センターで行うイベントは、定員 20 名程度が多くなかなか参加できない。若林は少し遠いので、もう少し近くに施設があるとよい。	20 名に制約していたのはコロナの関係もあったと思う。7 月 1 日にやるイベントは 120 名募集である。何らかの機会にぜひ行ってほしい。
教育	塚戸小学校の旧校舎のトイレは和式がほとんどで使えない児童も多いと聞く。トイレの洋式化について教えてほしい。	教育委員会では、公共施設等総合管理計画などにに基づき、計画的に学校施設の改修を行っており、小学校トイレの洋式化改修についても、順次改修工事を実施している。塚戸小学校については、改修工事に向けて設計業務委託の検討を進めている。
公共施設	祖師谷 6 丁目は、杖を使う方や車いすの方には不便な場所である。病院や店舗が近くにないため、歩いて行ける居場所がほしい。	学校、保育園、高齢者施設などの地域交流室などもあるため、気軽に行ける居場所を四者連携で開発してほしい。
公共施設	新庁舎の工期延長について、事業者がどのように責任を取るのか、区のおしらせで報告すること。	事業者と協議を行っており、詳細がわかり次第、議会で報告する。
その他	商店街の組合員が少ない。商店会の加入促進の条例が出来たが、効果がないようだ。せたがや Pay で加入促進など図れないか。	7 月 1 日からせたがや Pay の割引が始まるが、商店街振興組合加盟店は 20% 割引、非加盟店は 15% 割引となっており、これにより加入促進を図っている。

その他	短歌のサークルの代表をしている。教育委員会の講師派遣事業を今後も継続してほしい。短歌の学習、心と体の維持、認知症予防や嚥下障害予防などにもなる。	一人一人と話すのは大事である。コロナ禍で誰とも話さなくなった人が増え、電話も減った。このような状況なので、ぜひサークル活動を継続してほしい。
その他	ふるさと納税に不公平感を感じる。制度に問題があると思う。	寄付額の上限を設けるだけで大きく流出額が減ると思われるので、今後も国に求めている。
その他	「ふるさと納税」は問題がある。廃止すべきだ。	現在のふるさと納税制度は、数多くの問題点を抱えているため、制度の抜本的な見直しを特別区長会などを通じて国に求めている。
その他	区政課題の解決のため、生産性を高めたり、外部の知見を取り入れる取り組みも必要ではないか。外部の知見が必要な案件をホームページなどに公表し、そこに参画出来る方を募集し、面談を経て参画してもらう仕組みを構築してはどうか。	区では、民間の会社などに籍を置きながら、副業という形で区政課題の解決に協力いただく手法の検討に取り組んでおり、今年度中に広報部門や産業振興部門などにおいて、この副業人材の活用を始める予定としている。

○成城地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
DX	単にデジタル化をするのではなく、デジタルトランスフォーメーションを本気で進めて欲しい。	デジタル化により、定型業務やパターンの処理が減る。そこで職員が本来のヒューマンサービスに戻っていくとともに、空いた時間を有効に活かしていく。デジタルを使うのが目的ではなく、デジタルを使って幸せな社会をつくるために、大学や皆さんと連携したいので、ご協力いただきたい。
防災	まちづくりセンターの防災予算を10倍に、防災担当職員を倍にしてほしい。	他の地区でも防災予算が不足しているという意見が出ているので、今後の会議で検討していきたい。
防災	自治会会員数が減少している。区でも対策をお願いしたい。	自治会活動の活性化として、「いちのいち(町会・自治会向けSNS)」で情報共有等を行っているところや、LINEでグループを作っているところもある。何でも良いので自分たちに合うツールで始めていただけたらと思う。
環境・清掃・リサイクル	ごみ集積所の見直しを近隣で話し合う機会がないので、区が主体となり意見交換や見直しの場を持っていただきたい。	基本は地域の皆さんで決めていただくところだが、話し合いができないということを清掃管理事務所に伝える。
福祉	多世代が参加し、高齢者の見守りなどにつなげる成城8989(わくわく)という活動をしているが、運営費が足りていないためサポートしていただきたい。	予算の仕組みが本庁にあげていかないと降りてこない形になっている。地域・地区の活動実態を知っているのは支所やまちづくりセンターなので、参加と協働のためにも支援の仕方を考えていきたい。
福祉	8050問題について、50~60代の引きこもりはなかなか表にはわからずに、親が認知症になってから気付くという傾向がある。声をあげない人をどうピックアップしていくか。	50代の引きこもりは、世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」を中心に重層的支援を行っている。専門職同士も顔の見える関係をつくりつつ、支援を断るような方にも伴走型支援を行っていく。
福祉	身体と精神に障害があるが、成城8丁目の8989(わくわく)ネットワークへの参加が生きがいになっている。助成金や人的な支援をお願いしたい。	コミュニティの中でつくられていくこのような活動をこれからも、支援していきたい。

道路・街づくり	区道に凹凸が多く転びそうになることが多いので、総点検してほしい。	道路で危険なところがあれば地域振興課に伝えてほしい。
道路・街づくり	成城学園前駅南口の益踊りの開催場所が非常に狭い。駅周辺の整備に拍車をかけてほしい。周辺の区未利用地等も洗い出してマスタープランを官民協働で作っていききたい。	成城学園前駅南口の広場の用地取得は進捗しない状態で、支所の特命課題である。ガードパイプを外すなどしてプレイスメイキングをしているが、地区街づくり計画も検討していきたい。
交通	高齢者団体若葉会の活動を「成城ふれあいの家」で行っているが、成城学園前駅から徒歩 10 分以上かかるため大変。自動車での送迎等交通の不便さを解消してほしい。	現在、砧地域においては、砧・大蔵地区での予約制乗合ワゴンの実証運行や成城学園前駅広場の暫定利用に向けたベンチ設置など、誰もが快適に移動できる環境づくりに取り組んでいる。いただいたご意見は、交通所管などとも共有し、今後の交通不便地域対策や歩きやすい街づくりの参考とさせていただく。
教育	小中学校の所得制限無しの給食費無料を来年度も続けて欲しい。	令和6年度以降の継続については、今後の社会経済状況や国・都の施策、物価・賃金の動向、財源の課題などを踏まえながら検討していく。
教育	区立図書館は直営にしてほしい。	区立図書館は基本直営でいきたいと思っているが、一部指定管理で時間を長くしたりもしている。また、図書館カウンターは民間を活用している。図書館のレファレンス、ニーズに即したおすすり案内など、職員のレベルを上げていきたい。
公共施設	区内に火葬場の整備をしてほしい。	区では臨海斎場に出資しており、区民利用率は 10～12%となっている。多死時代が到来しており、焼却炉の増設工事を行う予定である。
公共施設	砧公園内に火葬場が設置されるのか。	火葬場については、住宅や学校、保育園や病院、事務所や店舗などから、概ね250m以上離れていることが「世田谷区墓地等の構造設備及び管理の基準等に関する条例」で定められている。これらの条件を満たす場所は、区内では砧公園内のごく限られた部分しか該当しないため、砧公園内に火葬場を設けることは難しい

		と考えている。
その他	子ども食堂を特別養護老人ホームを借りて行っているが、施設に物を置けないので、毎回車で搬出入している。置き場について区の支援をお願いしたい。	置き場の確保については、まちづくりセンターにも相談してほしい。
その他	施設やイベント開催が区内の東部西部で偏りがあるため改善してほしい。	国際交流や生涯学習に関する施設が東側に寄っていることは顕著なので、成城大学にも協力いただき、西側でも参加できるような場をつくりたい。
その他	今年に入って、審議会など対面に戻りつつあるが、オンライン活用を継続してほしい。	オンラインがなければ、今日の集会も開催できなかった。今後も活用していく。
その他	ウクライナ侵攻に関して、様々な集会に参加しており、自宅を活用した避難者支援を考えている。社協やトラストまちづくりとの連携もあるが、区側からのサポートも無理のない範囲でお願いしたい。	区としても避難民受け入れプロジェクトとして支える体制を構築し、10数組が区内で過ごしている。せたがや国際交流センター「クロッシング世田谷」でも支援を考えている方と繋がりを持つことができると思う。
その他	予算の執行率が毎年低いのは何故なのか。	予算の執行率は、概ね90%台となっている。
その他	ふるさと納税の赤字率が中々改善しないのが残念だ。国の施策が変わらない限り無理なのか、何か良い方法は無いものか。	これまで、区の実践に共感・応援をいただくことを基本にふるさと納税を募るとともに、区の施策への理解促進や世田谷の魅力発信につながるよう、障害者施設の自主生産品や世田谷みやげ等をお礼の品としてきた。しかし、区の財源流出額は拡大しており、他自治体に在住の方からの寄附につなげるため、区の実践を伝え、来街を促すようなお礼の品の充実にも取り組んでいる。また、制度の抜本的な見直しについても、引き続き、23区一丸となって国に求めていく。

その他	課の方針として職員の名前を教え てもらえない。後で電話すると言っ てから半年間連絡がないため、広報 広聴課から連絡を促してもらった が連絡がない。公務員が名前を言わ ないのは違憲なので、改善を早急に お願いしたい。	数回、時間帯も変更しご連絡したが、 直接お話ができなかった。電話に出 られないご事情があるかもしれない と、繰り返しの連絡は差し控えてい た。お待ちいただいていたとのこと で大変申し訳ない。職員の名前につ いては、改めて指導する。
-----	---	---

○喜多見地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
防災	喜多見地区は水害の問題が大きい。地区内でも、崖上と崖下では意識が違う。崖上の避難所に避難した際の対応と、水没後の再建の2点を考えた計画を作らないといけない。地域としても協力するので検討してほしい。	大きな課題であると思っている。災害対策課にもいただいた意見を伝える。
安心・安全	詐欺や不審者が増えており、ペット糞のマナーも悪い。対策のために防犯カメラを取り付けてほしい。	商店街や町会・自治会で設置しており、区内で1330台設置している。自動販売機への設置の話もあり、今後普及していきたい。
安心・安全	特殊詐欺を減らす取組みをしてほしい。	区では高齢者への自動通話録音機の貸出を進めている。その他、キャッシュコーナーなどに電波妨害機を設置し、電話しながら操作をできないようにする対策を進めている。
安心・安全	詐欺対策としてナンバーディスプレイがある。高齢者は無料になるサービスがあるが、電話番号の名義人と使用者が同じでないと対象とならない。成城管内は詐欺被害が多いので、区からNTTにサービスの改善を申し入れてほしい。	NTTに申し入れる。
安心・安全	防犯カメラの補助が出るまでの期間を短くしてほしい。また、町会の人口が増えているため、宇奈根地区内に派出所か交番を作るよう警察へ働きかけてほしい。	警察には粘り強く取組みを進めるようお願いをし、支所としても応援していく。危機管理部とも情報共有し、一緒に取り組んでいく。
福祉	行政では熱中症対策のためクーラーを適切に使うよう言っているが、伝わっていない。電気料金も上がる。荒川区は扇風機を補助するようだが、低所得者向けに何らかの補助をしてほしい。	区でどのように応援できるか検討したい。
福祉	高齢者の不安をフォローしたいがどこに伝えればいいのか分からない。防犯情報がマッピングされているなど、近隣で共有できるものがあったらいい。	事件性につながりそうなことは警察に通報してほしい。道路の造りや見通しを変えるなどの環境改善であれば支所へ相談してほしい。

子ども	双子の会が砧総合支所から児童館へ移され、参加者が少なくなった。支所は交通の便が良く多くの地区から人が集まり交流できる。支所の双子の会を復活させてほしい。	健康づくり課ではこれまでグループ活動に取り組んできたが、コロナによって、活動が縮小してしまったこともある。今後、四者連携などで情報交換しながら地区での活動の再構築について考えたい。
子ども	喜多見駅周辺におむつ替えスペースや授乳スペースを作ってほしい。	まちづくりセンターと支所でニーズを探りたい。全区的な課題でもあるので、担当課と情報共有していく。
子ども	高校生の子どもがいるが、子育て支援の恩恵を全く受けられていない。本当に必要な部分に使われていくような支援の形に切り替えていただきたい。	今年度より自己負担、所得上限のない医療費助成制度を、高校生相当世代まで拡大した。また、高校2年生世代の子どもと保護者を対象とした子どもの生活実態調査を実施し、その結果等をもとに、令和7年度からの子ども計画（第三期）の策定に向け、高校生世代の子どもたちへの支援の充実のための検討をしていく予定である。
道路・街づくり	外環トンネル工事のオープンハウスや意見交換会の案内が遅い。以前のような教室型の説明会にしてほしい。また、トンネルの掘削で家屋にひびが入って泣き寝入りしている人がいるので、区にも苦情の窓口を作ってほしい。	外環事務所に担当課を通して申し入れる。
道路・街づくり	野川でバックウォーター現象が起こったため、アクリル板を使用して壁を作るようである。景観を配慮してアクリル板を使用するとのことだが、板が汚れて汚くなるのではないか。	バックウォーターへの対策として、必要な施工だということをご理解いただきたい。都の説明会でも同じように意見を言っていただければと思う。豪雨対策・下水道整備課にも情報共有する。
交通	玉〇4系統の運行形態が変更になり、オンデマンド輸送が開始した。二子玉川まで乗り継ぎなしで行きたいが解決策はないか。	バスの経営が悪化しているということもあるのでバス業者との協議会をつくり、公共交通の体制を強めていく準備をしている。オンデマンド輸送も利用者がいないと継続できなくなるので、欠点等あれば教えてほしい。

交通	喜多見・宇奈根地区のオンデマンド輸送は車両もワゴン車のため、まちづくりセンター近くにバス停を追加してほしい。	運行事業者からは、オンデマンド輸送の利用者が増えていき、運行エリアを拡大する余地が広がり、運行状況に影響を及ぼさないか確認した上で改めて検討すると聞いている。
教育	自習室がない。中高生の居場所がない。自習や学習支援の点から居心地のいい場所を作ってほしい。	学校の土日や児童館の夜間が使えないかなど、区で持っている施設の管理の問題を解決して、考えていきたい。
教育	小学校について、新任や育休復帰後の先生の負担が大きいため、副担任制をとってほしい。不登校が増加しており、既存の居場所では足りず、就労している親は困っている。	支援員は増やしているが、先生の希望者が減っている。発達に課題を抱えている子もクラスにいたので、ベテランの先生がサポートするような体制や、区独自の緊急派遣チームのようなものも必要。すぐに解決できないが、できる限り投資したい。
教育	小・中学校のトイレの洋式化をもっと早く進めてほしい。	トイレの洋式化は毎年予算を組んで実施しているが、順番が回ってきていないのではないかなと思う。改めてチェックしたい。
教育	砧南中学校のロッカーが小さくて教科書が入らない。子どもの学校のカバンが重すぎるので、状況を変えてほしい。	子どもの健康のためにも、荷物が重いこと、学校の付帯設備を整えることなど、教育委員会に話をする。
教育	中学校の楽器の老朽化が進んでいるので、買い替えてほしい。	教育委員会の予算として、まず教員不足の問題を優先すると思うが、楽器等の備品の更新も重要であることは認識している。
教育	G I G A 端末で先生と生徒で相互方向のデータのやり取りができるようにしてほしい。不登校の生徒が授業をオンラインで受け、課題をオンラインで提出できるよう実現をお願いしたい。	区では、学習用タブレット型端末における児童・生徒及び教員間でのファイルのやり取りを含む情報共有に向けた標準的なアプリとして、「Microsoft Teams」及び「ロイロノート・スクール」を導入している。これにより、授業をオンラインで受け、オンラインで課題を提出することは可能となっている。
教育	生徒が、デジター教科書がある事やG I G A 端末で利用できることを知らないため周知の徹底をお願いしたい。	デジター教科書は、担任の気づきや保護者からの申し出により、校内で検討したうえで利用いただいている。今後、教員への一層の周知を図るとともに、児童・生徒に対しても周知

		していく。
教育	就学時健診の対象を、通級の利用を希望する生徒まで広げ、目の問題で学習がし辛い生徒の適切な眼鏡の使用に繋げて欲しい。	就学時健診は通級利用を希望する方も受診できる。健診で眼科医が異常を発見した場合、医療機関で検査を行うよう勧奨している。
教育	就学時健診での簡易読みのアセスメントをして欲しい。	就学時健診では面接による受け答え等を行うことで、発達障害や知的障害の疑いのある児童を適切に支援に繋げている。
教育	就学時健診で、STROW-RやURAWSSなどの読み書き検査を実施し、医療機関や療育に繋がれるような支援体制を作ってほしい。	就学前にはまだ読み書きの学習を行ったことが無い児童もあり、また、STROW-RやURAWSSは小学生以上を対象とした検査手法と認識しているため、就学時健診での導入は予定していないが、ご意見は今後の参考とさせていただく。
教育	区立幼稚園、小学校及び中学校への言語聴覚士や作業療法士の巡回指導をお願いしたい。	区立幼稚園では、個々の園児の状況に応じて、児童発達支援施設等の専門指導員と一緒に対象園児の様子を観察し、その後の職員へのアドバイスや意見交換等を行う巡回技術援助指導を実施している。また、LD等発達障害がある児童・生徒は、特別支援教室(すまいるルーム)の指導対象となっており、在籍学級と協力しながら支援している。
公共施設	喜多見地区会館の改修または建替えをしてほしい。	いただいた意見を参考に支所で取り組んでいく。
その他	ふるさと納税による流出をどう考えるか。もったいないと感じる。	区としてお菓子や宿泊券を返礼品とし、寄附は増えているが流出が非常に多い。一人当たりの寄附の上限を設けたら流出額が縮む。国に対して要望していき、区民に対しても実情を伝えていく。

○上北沢地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
まちづくり	まちづくり協議会の参加が少ないため、宣伝のためにビラを配ったりしているが、ボランティアでやれる仕事は限られている。そのため、支所に補助を求めている。現状の制度では、金額が少なく手続きが煩雑である。	今年度予算では交付要綱の上限額で協議会活動助成金が配当されている。報告手続きが煩雑という点は、本助成金は、地域住民等の主体的な活動支援が目的となるため、広く区民へ使途などを説明する必要があることをご理解いただきたい。
まちづくり	明大グラウンドをリフォームしてから、一般の人は入れない。一時集合場所になっていて、昔は防災訓練などもしていたが、リフォーム後は訓練を1回もしていないため、ご指導をお願いしたい。	グラウンドを地域に開くよう大学に伝える。
町会・自治会・コミュニティ	自治会の加入率低下の原因や、努力しても改善されない理由など伺いたい。	都営八幡山住宅の建替えに伴って世帯数が増えると思われるが、八幡山自治会がどういう形になるかはまだ見えてきていない。自治会長とのお話の中で、加入者もそうだが役員を確保することも課題と認識している。
町会・自治会・コミュニティ	まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会及び児童館が連携する体制は非常に素晴らしいと思うが、効果や課題など、評価を伺いたい。	縦割りをなくすための取組みとしてサービスの体制は整理されたと思う。この先、住民の皆さんが積極的に情報をやり取りしながら、そこに区職員が課題解決にあたるのがどんな問題でもできるかどうかは課題だと思う。
DX	デジタル化は、広く全体を見られる人がリーダーシップを取っていかないとうまくいかない。	副区長はITだけではなく、福祉の活動も熱心にやっているなので、間を繋いで、できるだけ使いやすい、回しやすい仕組みを作って行こうと思う。
防災	八幡山北側の商店街に住んでいるが、住所は杉並区のため、避難場所が遠い。松沢病院は広いので、世田谷区と杉並区で協力して、防災の拠点を作れないか。	杉並区とも区境問題について何回か話しし、具体的には合同パトロールの実施を考えた。行政サービスや、防災の関係、図書館の利用などもあるので、総合支所や杉並区、まちの皆さんと意見交換をしたい。杉並区長にも必ず伝える。

環境・清掃・リサイクル	ごみ出しのルールを守らない住民に対し、区は指導を強化すべきではないか。	ごみ出しのマナーが悪い集積所については、清掃事務所で現地を確認した上で、個別に指導を行っている。お困りの案件がある場合は、清掃事務所までご連絡いただきたい。今後、区のおしらせや資源・ごみの収集カレンダーなどの広報を通じて、ごみ出し方についての住民への普及啓発をより推進していく。
子ども	青少年地区委員の設置基準の目的が「青少年をめぐる社会環境の浄化」となっているが、「浄化」というのは終戦直後の表現である。	青少年地区委員会の定義は確かに古い。区で議論して、再定義するように考えていきたい。
子ども	生活困難な子どもに対してのサポートを、区は福祉として位置付けているのか、あるいは将来の投資として位置付けているのか。	児童養護施設は皆さんのご厚志で長期的な支援が可能になったが、ひとり親家庭や生活保護世帯にも拡げていかなければならない。若者支援は福祉として進めてきたが、次世代につなげていく社会政策としてしっかり行っていきたい。
道路・街づくり	上北沢駅周辺のまちづくりについて、高架下を歩道として使えるような形にできないか。	高架下の利用については、15%は公共利用できることになっている。関係者間で利用について協議していくことになるが、ご意見はしっかり伝えていく。
道路・街づくり	八幡山駅南側に原っぱ広場がある。ただの広場ではもったいないので、活用してほしい。	都営八幡山アパートは建て替えが進んでおり、都と協議しながら使える空間ができる予定。まず、高齢者・障害者・子どもの施設を中心に要望していく。それ以上に使えるところがあれば皆さんの声も聴きながら検討していきたい。
道路・街づくり	京王線連続立体交差事業に関する側道の整備について、交番から西へ松沢病院に抜ける道が幅4mで狭い。上北沢地区は大きく見ると袋小路になっており、消防の大型車は入ってきても抜けられない。まちづくり協議会でも要望しているが、少しでも拡幅できるように努力していただきたい。また、上北沢駅の各駅停車の本数が少なくなっているの	側道の整備は都市計画上で4mとなっているが、残地の活用なども含めて、さらに工夫できないか、皆様のお話を伺いながらより良い街づくりに取り組んでいきたい。また、ダイヤ改正については、意見として京王電鉄に伝える。

	で、ダイヤ改正について京王電鉄に要望していただきたい。	
道路・街づくり	甲州街道にも自転車レーンがあるが、駐車している車があると車道に避けなければならない、車のスピードが早いので危険。車と自転車が事故に合わないよう工夫が必要かと思う。	区で新しく作る道路については、自転車がしっかり走れる道を意識したいと思う。
道路・街づくり	自転車で走る時はなるべく端に寄っているが、排水溝と道路の境目に段差があり、自転車が倒れてしまうこともあるので、段差を解消できるように工夫をしてほしい。	事故を誘発するような危険な箇所については、具体的にお知らせいただければ、国や都、関係部署に要望していく。
道路・街づくり	上北沢は駐輪場がないので、高架下に駐輪場を作ってほしい。	高架下の活用については整理できていない状況。皆様のご意見を協議会をはじめ総合支所やまちづくりセンターに寄せていただけるよう体制を取っていく。
道路・街づくり	近隣の家の角が三角にけずられたため、大型の車が左折するようになり大変危険。我が家の前の道路は道幅が狭くなっている。交差点と道路の安全対策をしてほしい。	該当の箇所は、建築で道路が広がった箇所である。道幅が広いと勘違いした車が、左折した先で立ち往生していることがあるので、注意喚起のために「左折先道幅狭い」と記載した電柱幕を設置する。
交通	上北沢3丁目にある桜並木通りは、日曜日の10時から18時に歩行者道路になるが、車は回り道をする必要があり、非常に不便である。警察にも相談したが、解除のためのアドバイスをお願いしたい。	詳細な場所や、それぞれのご意見を改めて伺いながら、まちづくりセンターとも協力して相談にのる。
交通	エイトライナーの進捗状況を聞きたい。	エイトライナー協議会は今もある。今年も世田谷区が音頭をとり開催するが、毎回検討するごとに工事費が上がっていく。縦の交通が弱いという事実があるので、何らかのプランを考えていく時期になっていると思っている。
教育	子どもの不登校について、乳幼児期は児童館や健康づくり課の連携のもと支援をしているが、小・中学校までつながらない。不登校児が12	ほっとスクール希望丘は見学の申し込みが10ヶ月待ちで、不登校特例校も1校できているが、すぐに定員に達してしまう。学校の中で個別対

	〇〇人いる中で、ほっとスクールに全員がすぐに入れるわけでもない。都立高校では、教室以外でも居て良い場所を拡充して不登校を受け入れている。小・中学校で居場所として認めてもらえる場所を作ってほしい。	応できる場所の確保や、教員の確保のために教員を目指している学生をボランティアで募集するなど、危機感を持って対応しているところもある。教育委員会だけではなく、子どもたちが行ける場所を、学校の中にも外にも作っていくことを目指していきたい。
公共施設	音響の良い会場、音楽ホールが出来ないか。松沢病院の敷地を上手に利用していただきたい。	区民の利便性が開けるような使い方が出来ないか都や院長と話していきたいと思う。
その他	若い世代がもっと世田谷区に来るように考えてほしい。	マンション開発がされているが、相場が上昇していて所得がある方しかなかなか移ってこられない。子育て中の世帯とその手前の若い世代の支援を考えていきたい。
その他	2年前に引っ越してきた際に、コロナワクチンの申請書の送付や窓口の対応など丁寧にしていただき、感謝している。	コロナの関係は、保健所とワクチン接種の人数を増やして対応していた。お話を聞いて安心した。
その他	世田谷は縦割りが強く、横の連携が非常に悪い。区には障害児運動教室があり、スポーツ事業団がやっているが、教育委員会が絡んでいない。	障害児運動教室であれば、障害福祉部はもちろん教育委員会も知っていなければならない。まちづくりセンターでも、区でどんな活動をしているか職員が十分に知らなければ皆さんと共有できない。まちづくりセンターの中で様々な活動についてご案内や情報へのアクセスができるようにしていきたい。
その他	桜上水と上北沢は連携している地域にもかかわらず総合支所が違うため、非常にやりにくい。支所の区画を見直すことは出来ないか。	地区の区画変更では、二子玉川の人口が増えたため、用賀地区を分割し二子玉川地区ができた例がある。地域の区画も未来永劫変わらないということではなく、住民の皆さんの声がどこまで高まるかによると思う。
その他	AEDが置いてあるのは役所や学校、公共施設のため、昼間は使えるが夜は使えない。コンビニに置いてもらえないか。	危機管理部や保健所と相談する。

その他	マンション交流会の今後の継続的な運営への危惧から、「問題点（現状分析）」～「課題抽出」～「仮設提案」の簡易プロセスで、交流会運営の改革を提案する。	ご意見をいただいた交流会への参加者数については、参加方法を会場とオンラインの併用にしたことにより増加し、区としても一定の効果があったと認識している。また、交流会では、提案書に基づく地域別交流会を開催するなど改善に着手している。区としては、いただいたご意見については、交流会と共有しながら、マンションの課題解決に向けた交流会の自主的な活動や組織運営を支援していく。
-----	---	---

○烏山地区

項目	質問・意見等(要旨)	回答要旨
DX	区民ひろばのイベント情報が散らばっているので情報を一元化し、ツイッターなどでまとめて流してほしい。	イベント情報の一元化については、まちづくりセンター単位で、地域の皆さんの協力もいただきながら検討していきたい。
防災	団地の半数が高齢者で、話を聞き取りづらい方が多い。在宅避難の講演会を開催する予定だが、FM受信機を使用したいので支援してほしい。またプロジェクターは見づらいので、50インチのテレビも共有してほしい。	防災資機材助成については、町会・自治会等の相談を受けたものについて対応している。メニューが限られているところもあるが、地域振興課の防災担当に相談いただければ、災害担当課とも相談して、検討させていただく。
福祉	難病の母を在宅介護しているが、通っている病院から患者切りに遭った。区に相談してもたらい回しされてしまう。区では障害者や難病に対する対応が出来ていない。次の行先も相談出来ず困っている。	いただいた意見について、担当の保健福祉課に伝える。
福祉	烏山地域と他地域の地域格差を感じる。乳幼児におけるコロナワクチンに対応している病院が1つしかなく、そこでは受けられず、他地域の病院で受けざるを得なかった。乳幼児を連れての移動は大変なので、地域格差を是正してほしい。	今は、接種会場は地元のクリニックにかなりシフトしている。地域格差はスポーツ施設にも言えることだが、キューズガーデンは第一生命の社会的貢献として区民が利用できる形となった。公園やみどりも意識して計画していきたい。
福祉	高齢単身者の方が部屋で倒れた場合、発見まで時間がかかった事例がある。近所づきあいで声をかけ合うだけでは、限界がある。「ネットワークの深化」の具体的な内容、目指していることを教えてほしい。	区では、ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者見守りの取り組みとして「高齢者安心コール」、「民生委員ふれあい訪問」、「あんしん見守り事業」、「地区高齢者見守りネットワーク」の4つの事業を実施している。加えて、宅配事業者と「高齢者見守り協定」を締結しており、高齢者が安心して地域で生活できるよう重層的なセーフティネットを構築している。引き続き、高齢者の生活上の変化や異変の「気づき」につながる取り組みや機会の拡充に努め、高齢者の孤立を防ぎ、必要な支援に結びつけられるように見守りのネットワークを深め

		ていく。
福祉	難病の住民の担当所管を決めてほしい。	医療と介護の連携でお困りとのことなので、保健福祉課でご不安な点についてお話を伺う。
福祉	成城リハケア病院の対応に問題があるにも関わらず、区の保健所での研修講師や都の区西南部地域リハケア事業の委託先になっているのは不適切だ。研修の選定や事業審査・評価を誰がどのような基準で行ってきたのか説明してほしい。また、今後このような病院を講師にするのはやめてほしい。	世田谷区福祉人材育成・研修センターにおいて実施する研修の講師は、研修テーマの内容に精通している学識者をインターネットや文献を参考に探してほしい。以前登壇いただいた講師、各種委員会の先生方や関連団体などと研修センターとの繋がりを利用して、適任な講師を紹介することもある。また、参加者へのアンケートにて好評だった講師には継続して依頼することもある。引き続き、研修テーマや参加対象者のニーズなども捉えながら選定していきたい。
子ども	桜新町の産後ケアセンターが烏山地域からアクセスしにくいので、近い場所に作ってほしい。	産後ケアセンターは全区的に作っていくことを目指しており、至誠会第二病院でベッド数を確保する取り組みは始まっているが、多くの方に使ってもらえるところまで至っていない。産後一番手のかかる時期に様々なサポートや助言があること、また保育園に入るまでの間、切れ目のない形で支援できるような仕組みを作っていく。
みどり・公園	烏山プレーパークについて、近隣の苦情により、焼き芋やりレー、ボール遊びができなくなった。子どもがのびのびと遊べる場所にしてほしい。	子供たちがのびのび遊び育つということを保証しつつ、一定のルールを設けて近隣の方の理解も得られるように努めていきたい。
みどり・公園	烏山プレーパークの利用者が、もぐら公園に鳥居のようなものを建てたり、駐車違反をしたり、泥足でベンチに乗るなど迷惑している。また、東屋の柱の根本が腐食する危険性があるため、直していただきたい。	

道路・街づくり	烏山区民センター周辺で建設中の建物は20mくらいの高さになると聞いている。30m以上の建物は控えてほしい。	当該建物については、法令等に基づき工事が進められているものと認識している。建築物の高さについては、地区計画で制限を定めることもでき、当該地区には地区計画が定められている。地区計画を定める際には、地域のご意見を聴きながら地域の実情に応じて定めていく。
道路・街づくり	もぐら公園周辺は都道で分断されてしまうと、交通量も増え環境が悪くなる。見直しを検討してほしい。	当該道路は、優先的に整備すべき路線として選定されており、都により都市計画道路事業が進められている。令和元年6月5日に都が開催した「東京都市計画道路補助線街路第219号線 事業概要及び測量説明会」においても同様のご意見をいただいております。回答した内容を都の建設局のホームページにて公表しているので、ご確認願いたい。またご不明な点は、都及び区担当宛ご確認願いたい。
道路・街づくり	岩崎学生寮跡地の取得に、近隣住民の署名を集めたが、区もご尽力いただき感謝する。	武蔵野の雑木林や貴重な野鳥等、地域の中でも大事なところであり、長い年月保存運動があった中で、区も協力し、跡地取得が実現した。計画道路については当初の経緯も踏まえつつ、区民や子どもたちにどうやって楽しんでもらえる場所にできるのか、地域の皆さんと一緒に考えたい。
道路・街づくり	寺町周辺の道路で2m幅のところが三か所あり、救急車も通れない。また、万年塀があり、倒れると危険なので対策願いたい。	狭あい道路の拡幅については、建築基準法のセットバックや地区街づくり計画などの街づくりのルールでの誘導が考えられる。皆さんのご意見を踏まえながら考えていきたい。万年塀については、会合等に参加する機会を通じて烏山寺町の皆様にご意見があった旨お伝えしたい。
道路・街づくり	補助216号線の甲州街道より北側について、高度成長期の整備計画をそのまま実施するのはいかがなものか。街路樹や公園が多いところに道路を広く整備して住みやすさにつながるのか、もう一度検討いた	烏山北住宅や松葉通り沿いの住宅の建て替え地域に近い部分のエリアと思われるが、団地の建て替えの協議が現在進行中で、道路をどのように造っていくのかも併せて協議が進められている。まちづくりは区民の方

	だきたい。	のご意見をいただきながら行うものと考えており、引き続き対応させていただきます。
道路・街づくり	千歳烏山駅周辺の街づくりについて、都市計画の要素以外に街のイメージづくりに地域の意識や行動が重要と考える。特に烏山区民センター周辺は烏山地域の街のイメージを向上させる上で重要。高齢者・障害者・子どもたちを含め、誰もが安全に過ごせる街、ユニバーサルデザインを体現した街づくりをしてほしい。	区は、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方の基、地元の活動等と連携した取り組みを進めており、今後も安全で魅力あふれる街づくりを推進していく。
道路・街づくり	烏山地域に高層ビルを立てる際、ビル風が発生することを念頭に置いて、開発を進めてもらいたい。また高齢者に配慮し、歩道ありきの計画で進めてもらいたい。	
道路・街づくり	千歳烏山駅前の放置自転車について、道路を塞いでおり、大変迷惑している。個人のマナーの部分もあると思うが、区としても何か考えてほしい。	都や京王電鉄と協議し、駅周辺の街づくりを進める中で、駐輪場がどこにあれば便利なのか、区民の皆さんの意見も聞きながら検討していきたい。
道路・街づくり	補助216号線、補助217号線、補助219号線の道路計画について、道のないところを立ち退かせて造る必要があるのか。住民目線で道路計画の見直しを、区として声をあげていただきたい。	下北沢駅周辺において、優先整備路線を見直した事例などもあり、計画に載っているから速やかにではなく、区民の声に耳を傾けたい。ただ、南北の道路がないことによる不便さの声も一方であり、交通事故の危険が高まり、生活環境が脅かされることにならないよう、皆さん意見を伺いながら対応していきたい。
道路・街づくり	京王線立体交差事業について、南北の風の流れを閉じるような高架下の利用はやめてもらいたい。	高架下を区として使用できるスペースは限られているため、今後どのような機能をつけていくのか等、北沢・烏山総合支所合同で協議し、区民の方々の意見をいただく場を設ける形で準備を進めたい。
交通	エルザの交差点について、歩行者の青信号の時間がすごく短いので、長くしてほしい。	甲州街道は道幅も広く、高齢者や子どもも利用する箇所でもあるので、成城警察署へ相談する。

教育	区は不登校の生徒の対応を担当任せにしている。担任によって対応が異なるので全教職員に研修を実施すべき。	どの子にも学ぶ権利があり、担任教師によって対応が違う、校長によって学校の方針が違うところを子どもの立場に立って是正していく。
教育	給田幼稚園の存続について署名とともに要望しているが、進捗を含め何も回答を得られていない。進捗状況について情報が得られる場を設けてほしい。給田幼稚園をなくすことが本当にこの地域の子どもたちにとって得策なのかももう一度考えてほしい。	給田幼稚園の保護者の方からの署名や声は直接受け取っており、その趣旨を踏まえて幼稚園の今後の計画のあるべき姿について話はしているので、直接お尋ねいただき、お返ししたい。
教育	幼稚園の無償化が始まってから、区立幼稚園の園児数が減っていると思うが、減少を防ぐ対策をしているのか。給田幼稚園は入園説明会が全く周知されていなかった。区立幼稚園の良い部分の周知に力を入れてほしい。	区としては、区立幼稚園の大事な経験とスキルを残していきたいと考えている。区立幼稚園を必要とするお子さんが通えるように、また情報が届くようにしていきたい。
教育	給田幼稚園ほど発達支援が必要な子に手厚くサポートしているところはないため、残してほしい。	給田幼稚園の発達支援に関する手厚いサポートは他幼稚園にはなく、再編されることで継続できなくなることは理解している。存続を求められている方へ、区として考えを示したい。
教育	性教育を学校で行ってほしい。	性教育は必要と考える。一時否定的に扱われた時期もあったが、現在転換点を迎えており、見直しの時期に入っていると思う。
教育	今年度予算のスローガンは「子ども全力応援予算」と聞いた。区の教員は区が養成するなど、区に必要な人材は区で賄う姿勢に変わりはないか。いわゆるエッセンシャルワーカーなど多くの人材を確保し、処遇も含め改善していくと良いのでは。	区独自教員については、現在区長部局と区教育委員会にて検討を進めている。
公共施設	地域のサークル活動を支える施設についてはアクセスがよく、歩いていける範囲にあることが重要。500m以内に施設があることを規定する「設置要領」のようなものがあると聞いたが、事実か。	施設の配置基準を定める要綱はないが、区民集会所は地区会館を補完するという考えのもと、区民センターは概ね半径1km、地区会館は概ね半径500mを利用圏内に施設の整備を進めてきた。しかし、様々な行政需

		要に依って行くため、利用率の低い施設について近隣施設との統合や他の用途への転用に向けた検討を進めるという考え方を、公共施設等総合管理計画の改定にあたり示したところである。
公共施設	北烏山地区会館廃止に伴い、代替施設を作ってほしい。	区としては利用率を確認した上で、このような決断をした。代替施設の要望があることは認識しており、民間施設で一定の人数が集まれる広い場所、区民が利用できる場所がないか探っていく。
公共施設	烏山中学校のプール使用料について、高齢者及び障害者の団体の使用料の補助を行ってほしい。他区では無料か半額になっているが、世田谷区は23区で一番使用料が高い。	障害福祉部に伝え、区全体のサービスとして検討させていただく。
公共施設	けやきネットの更新に際して、条例の「他団体とメンバーが半数以上重複がある場合」に該当するため更新できなかった。当選確率を上げる悪用を防ぐ理由であれば理解できるが、団体の存在自体が問題ということであれば憲法違反、結社の自由の侵害である。見解を伺いたい。	団体の中には当選確率を上げるために複数の団体を登録している団体もある。区では機械的にそれを判断している場合もあるので、点検の仕方も含めて改めて検討する。お話の団体の存在自体を否定するつもりはない。
公共施設	けやきネット利用の際、時間の設定が不便。12時半～14時半までの回を利用することが多いが、13時まで昼食の時間で、実質活動が13時～14時半となり、13時～15時まで等使いやすい時間帯の設定にしてほしい。	10年前、枠数を増やそうということで時間帯を変更した。時間帯が使いづらいということについては、改めて検討させていただく。
その他	選挙について、投票率を上げるために選挙に行くことに楽しみを取り入れてはどうか。	区長選の投票率は46%に上がっているが、若者の投票率が低いのは確かなので、選挙管理委員会に意見を伝える。
その他	高源院の鴨池のかいぼりをしてほしい。	管理をしている高源院と相談する。また、湧水がどう影響するかについて専門的な知見も必要なので、かいぼりが適当かどうかも含めて、担当の部署と相談する。

その他	世田谷ナンバーを選択制にしてほしい。	国土交通省関東運輸局が管轄しているため、選択制はできない。
-----	--------------------	-------------------------------

要望等一覧

車座集会での「意見・質問票」やご意見として承った要望等を項目に分けてまとめた。(項目は「地区別質問・意見等」と同じ)

項目	要望等(要旨)
まちづくり	インターネットが使える人、使えない人がいるので、それぞれの方に合わせた広報をお願いしたい。
まちづくり	地区ビジョンづくりを地域住民と一緒に考えていくことで自分事としてとらえていくことができる。地域の課題と将来像が見えてくるといろいろな活動を民間連携で地域の方と一緒にやっていく必要があると思う。
まちづくり	成城100年祭が来年スタートするので、区の協力をお願いしたい。
町会・自治会・コミュニティ	町会離れが多い。町会加入促進を区からPRしてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	多世代交流・学習支援・子ども食堂の活動について、必要にしてくれている人はいるが、場所の問題が常にある。
町会・自治会・コミュニティ	中学校の陸上部の外部指導員をやっているが、地域の大学生や社会人の指導は中学生にとって貴重。組織の垣根を超えた交流は今後もより良い暮らしにするために必要なため、積極的に参加をしたい。
町会・自治会・コミュニティ	地区内の学校に通学しているが、学校として地域と関わる機会がほとんどないことが問題だと生徒会でも話題になった。また、地域の方から道で広がって通行の支障になっている、歩きスマホをしている等多くの苦情が来ており、生徒会も対策を考えている。まずは地域の方との関わりを増やそうと思う。
町会・自治会・コミュニティ	コロナ前は学校の先生も地域との交流について積極的に関わっていた。コロナが明けて世の中が普通に動くようになれば、また交流できると思う。学生の方には、交流したいという気持ちは持ち続けてほしい。
町会・自治会・コミュニティ	中学生徒会で何かをしたいと思っても、学校の生徒がフォローしないと意味がない。何かを行う際、学校全体で目標に向かっていければいいと思った。
町会・自治会・コミュニティ	家庭、学校、地域と段階によってコミュニティが大きくなっていく中で、一番大事なのは思いやりと尊敬だと思う。地域には素晴らしい方がたくさんいるので、学生の方には、見習って頑張ってもらいたい。
町会・自治会・コミュニティ	自治会・町会の高齢化により、町会の活動に制限が来ている。区からの仕事も多く、このままだと大変な事になる。区として考えてほしい。
DX	地域行政推進条例において、まちづくりセンターが四者の事業を繋ぎ、補完し合える活動を行ってほしい。また、情報の一元化と情報共有・発信ができる住民参加のDXを生かしたシステムづくりを、まちづくりセンターを中心に行ってほしい。

DX	LINEによる通報の対象に、日常生活を送る上で不安や懸念等があったときの一般的な連絡窓口も追加してほしい。
DX	デジタルを活用して、町会加入・未加入に関わらず区の情報を得て、よりよい生活が送れるよう努力いただきたい。
DX	QRコードやデジタルチラシなど、情報のデジタル化を進めてほしい。今の子育て世代はチラシを見ない。
防災	キャロットタワーにあるカメラを利用し、大規模災害時の発災場所や規模の把握をしてはどうか。またその情報を避難所等に集まっている人々へ迅速に伝えてはどうか。
防災	祖師谷まちづくりセンターに防火水槽があるので、有効活用するため、D級ポンプを置くなどしてほしい。
防災	明正小学校が避難所となっているが、野川を超えて、坂を上って避難できない。喜多見地区会館を防災の拠点にできないのか。
環境・清掃・リサイクル	落書きに関して、治安悪化も予想されるので、地域で「落書き消し隊」の結成と助成をお願いしたい。
環境・清掃・リサイクル	路上のごみ捨てが増えている。シルバー人材センターが対応しているが、区でもさらに助成して欲しい。
環境・清掃・リサイクル	世田谷代田、下北沢に人が集まるのはいいが、落書きや自転車・バイクへのいたずらなどが多くなっているのが気になる。地域内にトイレがもう少し多いと良いと思う。
福祉	下馬地区に宿泊入所施設を作してほしい。今、都営住宅の建て替えで土地が更地になっているので、その土地を有効活用してほしい。
福祉	移動円滑のための促進プランが出来上がり、梅丘、豪徳寺、松陰神社がモデル地区となった。今後、コード化点字ブロックの実証実験が行われるが、情報提供と共に、今後の対策にご協力いただきたい。
福祉	高齢者施設は隔離されているような気がするので、保育園と一緒にする等、様々な世代が住めるような施設を考えていただきたい。
福祉	高齢者の増加により買い物弱者が増える。生鮮食品の宅配サービスの店を増やして欲しい。
福祉	認知症と診断され認知症を受け入れられない方が、予防的支援などのサービスを受けやすくするアプローチを考えてほしい。
子ども	産後2年以内に使える「片づけ」サービスなどがあると良いのではないかな。
子ども	代沢ほっこりんルーム（小学1～4年生向け学習支援事業）はスタートアップ事業ということで3年間の助成だが、継続した助成をお願いしたい。
子ども	プレーパークへの支援を充実させてほしい。
子ども	三島幼稚園跡地で学童が計画されているようだが、敷地を半分ほどしか使わないと聞いている。全ての土地を使い、学童、幼稚園、幼児の遊び場、不登校児の居場所など「子どもの複合施設」として運営する事はできないのか。三島幼稚園を残してインクルーシブ教育を実現してほしい。

子ども	等々力児童館で子供が心と身体の成長を支えて頂いている。キャンプ、ドッチボール夢プロを続けてほしい。
子ども	子育ての支援体制が10年で大分進化した。子育てひろば、子育て支援ネットワーク、児童館、支援員等、多くの方に活動やお手伝いをさせていただいていることにお礼を申し上げたい。
子ども	成城さくら児童館について、いつも良い企画を職員が実施してくれるため感謝している。
子ども	おでかけ広場等、一時預りや利用できる施設が複数ヶ所あるのは有難いが、初回登録の度に個人情報登録するのが大変。一度の登録で関係する施設をすぐ利用できるようにしてほしい。
みどり・公園	北沢川緑道の自転車進入が無くならない(一ノ橋~四ノ橋間)。更なる対策をお願いしたい。
みどり・公園	区の保存樹について、保有する方の維持に関する負担が多く、また、大木を切るにも多額の費用がかかる。保存するためには点検の回数を増やすなど工夫が必要。
道路・街づくり	ボロ市通り沿いには複数の介護施設や保育園が立地しているが、交通規制、横断面構成は交通安全上の問題が大きい。路側帯の幅を2.25mに変更し、ゆずり合いの道路空間にするのはどうか。
交通	甲州街道松原2丁目の信号から入り、2丁目13番付近の安全確保をお願いしたい。信号・横断歩道を設置する前に、まず、警察による取り締まりを始めて欲しい。
交通	成城学園駅前から成城町まで横断歩道がないため、設けてほしい。
教育	少子化による教育者減少のため、年代を問わない教育・教養サービスを増やして欲しい。
教育	喜多見8・9丁目は、本屋もなく図書館がないので、狛江市に行くしかない。
公共施設	まちづくりセンター前または付近に休憩施設(ベンチ等)を設置してほしい。まちセンのトイレがいつも使えるわけではないので、天祖神社の公共トイレを改修してほしい。
公共施設	上用賀公園に防災訓練ができる防災広場を作って欲しい。また地域の子どもたちや老人でも参加できる花壇を作って欲しい。
公共施設	下馬6丁目は区の公共施設から遠く、不便である。図書館も遠いので、図書返却のポスト等をまちづくりセンターに設置してほしい。
その他	ガラス張りで見えがわかる銀行のATMコーナーがある。安心して利用したいので、建物内へATMを入れるよう働きかけて欲しい。
その他	来街者頼りの飲食店やエンターテイメントの店ばかりだと、オーバーツーリズムにより、住宅街の治安が悪くなる。
その他	車座集会で地域の大学に通う学生や学校の音に迷惑しているという話が出ていたが、子供や若者は未来を作る地域の宝である。高齢者も皆、昔は子供だったはず。若い人に大人の気持ちを理解してほしいと言うのは無理なことだが、大人は若い人の気持ちを理解できるはず。地域の子供

	や学生、学校や大学を大切に思い、支援したいと考えている住民もいることを関係者に伝えて欲しい。
その他	情報のデジタル化についていけない高齢者もいるので、広報板も活用してほしい。
その他	人口問題やそれに対する取組みなど、予防的観点からの情報発信をお願いしたい。
その他	まちづくりをやっていた人材が何でも相談を受ける窓口を設置してほしい。
その他	ふるさと納税についての区長の考えに共感した。
その他	ボランティアに手厚い費用を出すべき。